



2024 年度

海星学院高等学校シラバス

第 2 学年

	4月	5月	6月	7、8月	9月	10月	11月	12月	1月	2、3月													
論理国語	論理とは 具体と抽象とは		対比をとらえる	考查 主張をつかむ 要約の方法	小論文を書く 統計資料の読み方		考查 文章を批判的に読む 複数の新聞記事から意見を 書く	志望理由書 自己推薦書	文章を比較して 意見を述べる	考查 主張から現代社会に 対する考えを深める	百人一首	現代社会がもつ問 題について考える	考查	論理国語									
歴史総合	歴史と私たち 歴史の特質と 資料	近代化 へ問い	結び付く世界と日本の開国①② (単元テスト×2)	国民国家と明治維新①② (単元テスト×2)		近代化と現 代的な諸課 題	国際的な秩序 の変と大衆化 への問い	第一次世界大戦と大衆社会①② (単元テスト×2)	経済危機と第二次世界大戦①② (単元テスト×2)	国際的な秩序の 変と大衆化と現代 的な諸課題	グローバ ル化への 問い	冷戦と世界経済①② (単元テスト×2)	世界秩序の変容と日本①② (単元テスト×2)	現代的な諸課題の形 成と展望	歴史総合								
政治・経済	現代国家と民主政治 (単元テスト)		日本国憲法と基本的人権		中間試 験	日本の政治制度と政治参加(単元テスト)		現代の経済社会(単元テスト2回)		現代の日本経済と福祉の向上(単元テスト)		日本経済のあゆみとこれ から(単元テスト)	国際政治の動向と課題(単元テスト)		国際経済 理論	国際経済 の動向と 課題	国際社会におけ る諸課題の探究 (単元テスト)	政治・経済					
数学Ⅱ	数と証明(式と計算、等式・不等式の証明)			複素数と方程式(複素数と2次方程式、高次方程式)			図形と方程式(点と直線)		図形と方程式(円軌跡と領域)			三角関数(三角関数加法定理)			指数関数と対数関数(指数関数)		数学Ⅱ						
化学基礎	序章	第1章 物質の構成 第1節 物質とその構成要素		考查	第1章 物質の構成 第2節 化学結合		考查	第2章 物質の変化 第1節 物質量と化学反応式		第2章 物質の変化 第2節 酸・塩基とその反応		考查	第2章 物質の変化 第2節 酸・塩基とその反応		第2章 物質の変化 第3節 酸化還元反応		考查	化学基礎					
体育	体づくり運動		体力測定		サッカー		ソフトボール	テニス	バレーボール	バドミントン			バスケットボール		器械運動		体育理論		体育				
保健	生涯の各段階における健康				単元 テスト	労働と健康		期末 考查	環境と健康			単元 テスト	食品と健 康	単元 テスト	保健・医療制度及び 地域の保健・医療機関		単元 テスト	様々な保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加		学年末 考查	保健		
総合的な 探究の時間	春休み探究	キャリア探究				個人探究								総合的な 探究の時間									
音楽Ⅰ	イタリアの歌を歌おう		楽典・ソルフェージュ		ボイスパーカッション		期末試 験	西洋音楽史と鑑賞			リコーダー		考 査	ヴォイスアンサンブル		ギター		音楽Ⅰ					
英語コミュニケーションⅡ	LESSON 1 Why Don't You Come to School in Pajamas?		LESSON 2 Is Seeing Believing?		LESSON 3 Do You Get Enough Sleep?		LESSON 4 Do You Want to Speak English like a Native Speaker?		LESSON 5 Universal Design: Convenient for All		期末試 験	LESSON 6 The World's Oldest Game App Developer		LESSON 7 Learning from Nature		LESSON 8 The Wisdom of Preserving Food		LESSON 9 The Sharing Economy: Something for everyone?		LESSON 10 Sand and Concrete: A Basis of Our Life		学年 末考 査	英語コミュニケーションⅡ
論理・表現Ⅱ	Lesson 1 How interesting Japanese culture is!	Lesson 2 Wonderful places to visit in Japan.	Lesson 3 Precious water for all.	Lesson 4 What has happened recently?	Lesson 5 I am into music and movies!	Lesson 6 Where do you usually buy clothes?	期末試 験	Lesson 7 What kind of books do you like best?	Lesson 8 Inventions that changed the way we live!	Part 2 Lesson 1 Can you come to our party?	Part 2 Lesson 2 I am sure you can make it!	Part 2 Lesson 3 How about trying this food?	Part 2 Lesson 4 Tips for staying healthy	Part 2 Lesson 5 I'm taking part in some volunteer activities tomorrow	Part 2 Lesson 7 Which candidate is the right person?	学年 末考 査	論理・表現Ⅱ						
家庭基礎	生涯の生活設計				青年期の自立と 家族・家庭	子どもの生活と保 育	高齢期の生活と保育	共生社会と 福祉	考 査	食生活と健康			衣生活と健康	住生活と健康	生活におけ る経済の計 画	生活におけ る経済の計 画	消費生活 における 意思決定	持続可能 なライフ スタイルと 環境	考 査	家庭基礎			
聖書	海星学院とキリスト教		マリア祭		キリスト教について		授業内 テスト	いのちと喜び						他者との関わり				聖書					
物理基礎	1編 物体の運動とエネルギー 1章 直線運動の世界			考 査	2章 カと運動の法則		3章 力学的エネルギー		考 査	2編 さまざまな物理現 象とエネルギー 1章 熱		2章 波		考 査	3章 電気		考 査	物理基礎					
生物基礎	序章	1章 生物の特徴		考 査	2章 遺伝子とその働き				考 査	3章 ヒトのからだの調節			考 査	4章 生物の多様性と生態系			考 査	生物基礎					
情報活用	アプリケーションソフト「ワード」による中級スピード入力・文書作成・情報デザイン(ポスター作成)							期 末 考 査	アプリケーションソフト「ワード」による中級スピード入力・文書作成・情報デザイン(ポスター・カレンダー作成)					アプリケーションソフト「エクセル」による初級表計算情 報処理)			期 末 考 査	情報活用					
テクニカル ライティング	Chapter 1 Organization: the key to good writing.	Chapter 2 Understanding paragraphs. Part1		Chapter 2 Understanding paragraphs. Part 2	Chapter 2 Understanding paragraphs. Part 3		Chapter 3 Organizing Information by TIME. Part 1		期 末 試 験	Chapter 3 Organizing Information by TIME. Part 2		Chapter 4 Organizing Information by ORDER of importance. Part 1	Chapter 4 Organizing Information by ORDER of importance. Part 2	Chapter 5 Organizing Information by SPACE. Part 1	Chapter 5 Organizing Information by SPACE. Part 2	Chapter 6 The writing process. Supporting the main idea	Chapter 7 Supporting the main idea		学年 末考 査	テクニカル ライティング			

2024年度 国語科 シラバス・年間指導計画

科目名	論理国語			教科書	「新編 論理国語」大修館書店
学年	2	単位数	4	必修	副教材 「新編 論理国語学習ノート」大修館書店

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。
学習の進め方	この授業ではノートやルーズリーフを用意する必要はありません。教科書・副教材、配布されるプリントを綴じるファイルを必ず持参してください。授業は本文の読み取りやレポート類の作成といった、読むことや書くことに重点を置いて行います。また、考えを深めるためにペアワークやグループワークも行う予定です。
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度
	① 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
	② 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
	③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	1	オリエンテーション						
		2	第1部1論理と出会う 「論理的な人」とはどういう人か	・「論理」についての筆者の考えを読み取る。 ・筆者の主張をふまえ、これからの学習に興味をもつ。	①語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ②文章の内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながる要旨を把握している。 ③論理についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、論理的に考える力を伸ばそうとしている。	小テスト	●		
						ワークシート		●	●
						振り返りシート			●
		1	フォーカス 「論理」への第一歩	・論理的に考える姿勢を身につけ、論理がなぜ必要なのかを理解する。	①文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深めている。 ②論理的な考え方や適切な文のつなぎ方を的確にとらえている。 ③積極的に学習に取り組み、文や文章の組み立て方、接続のしかたについて理解を深めようとしている。	ワークシート	●	●	
						振り返りシート			●
						小テスト	●		
		3	第1部2具体と抽象 記号的メディアと物理的メディア	・具体例の働きを的確にとらえ、具体と抽象の関係についての理解を深める。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。	①具体と抽象を示す語句や表現を理解し、文章を読む中で具体と抽象の関係をとらえる助けとしている。 ②具体と抽象の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながる要旨を把握している。 ③メディアについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、具体と抽象の関係をとらえようとしている。	ワークシート		●	
						振り返りシート			●
						ワークシート		●	
8 ・ 5	論理の窓② さまざまな具体化	・「ウォームアップ 具体と抽象の関係」を活用して問いを立てる。 ・内容を具体化してわかりやすくしたり、抽象化してまとめる。	①情報を抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 ②具体と抽象の関係に注意しながら、適切に内容をまとめている。 ③積極的に学習に取り組み、具体と抽象の関係について理解を深めようとしている。	ワークシート	●				
				ポスター		●			
				振り返りシート 交流反省用紙			● ●		
5 ・ 2	第1部3対比をとらえる① 米の種類と食文化	・対比の関係、効果を意識しながら、筆者の主張を読み取る。	①対比を示す語句や表現を理解し、文章を読む中で対比の関係をとらえる助けとしている。 ②対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながる要旨を把握している。 ③対比の関係を的確にとらえながら、筆者の考えを読み取るようとしている。	小テスト	●				
				ワークシート 作文		● ●			
				振り返りシート			●		

5	第I部3対比をとらえる② 対話の精神	・対比の関係を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・文章の構成や接続表現に注目しながら、筆者の主張を読み取る。	①対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読み、対比関係や論理展開をとらえる助けとしている。 ②対比の關係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確しながら要旨を把握している。 ③コミュニケーションについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の關係をとらえようとしている。	小テスト	●						
				ワークシート 作文		●	●				
					振り返りシート			●			
5	第I部3対比をとらえる③ デジタル地図から見える世界	・対比の関係を意識しながら読み、論理の展開を的確にとらえる。 ・文章の構成や展開のしかたに注目しながら、筆者の主張を読み取る。	①対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読み、対比関係や論理展開をとらえる助けとしている。 ②対比の關係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが ら要旨を把握している。 ③デジタル地図についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の關係をとらえようとしている。	小テスト	●						
				ワークシート 作文		●	●				
					振り返りシート			●			
6	1	前期中間調査			●	●	●				
	4	第I部4主張をつかむ① —科学技術時代の今を生きるために	・主張と根拠の関係を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・文章の構成や論理の展開に注意しながら、要旨を把握する。	①主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ②文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが ら要旨を把握している。 ③科学技術についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、主張と根拠の關係をとらえようとしている。	小テスト	●					
					ワークシート		●				
						振り返りシート			●		
	4	第I部4主張をつかむ② 「考える輩」であり続ける	・筆者の主張と、それを支える根拠の役割を的確にとらえる。 ・文章の構成や論理の展開に注意しながら、要旨を把握する。	①主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ②主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ③デジタル社会についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、主張と根拠の關係をとらえようとしている。	小テスト	●					
					ワークシート		●				
						振り返りシート			●		
	3	フォーカス 要約の方法	・文章のキーワードや、主張と根拠の関係を的確にとらえて要約する。	①文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深めている。 ②主張と根拠の関係を意識し、文章の要旨を正しく把握している。 ③主張と根拠の關係をとらえながら、文章を要約する学習に積極的に取り組んでいる。	要約用紙	●	●	●			
					振り返りシート			●			
	7	4	第I部5論理的に書く—小論文①	・根拠を明示しながら論理的に主張を書く。 ・接続表現を適切に使って、論理的な文章を書く。	①小論文における、根拠を明確にしなが ら主張を論理的に書く方法や、主張と根拠を示す接続表現について理解を深めている。 ②根拠とする情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 ③小論文を書くことに興味をもち、適切な根拠を示しながら、自分の主張を展開しようとしている。	小論文	●	●			
									振り返りシート		
		2	第I部6統計資料を活用する 若者の「海外旅行離れ」は本当か？	・統計資料の特徴をとらえ、必要な情報を的確につかむ。 ・主張の根拠となるように、統計資料を効果的に活用する。	①主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ②文章と資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。 ③積極的に学習に取り組み、文章と資料の關係について理解を深めようとしている。	小テスト	●				
								ワークシート		●	
								振り返りシート			●
2		フォーカス 統計資料を活用しよう	・統計資料の特徴をとらえ、必要な情報を的確につかむ。 ・主張の根拠となるように、統計資料を効果的に活用する。	①主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ②文章と資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。 ③積極的に学習に取り組み、文章と資料の關係について理解を深めようとしている。	小テスト	●					
								ワークシート		●	
								振り返りシート			●
2		第I部7比べて読む① 「言葉の揺れ」を認めるか	・情報を比較・整理しながら、異なる立場の主張を読み取る。	①情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 ②複数の文章の内容を比較・整理しながら検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ③情報を的確に比較・整理しながら、筆者の考えを読み取ろうとしている。	ワークシート	●					
								作文	●	●	
								振り返りシート			●
8		第II部I自己を見つめて 補助線を引きながら考える	・筆者の問題意識をとらえ、主張を読み取る。 ・読み取ったことをふまえて、自分の思いや考えを深める。	①自らの考えを論証するために必要な語句の働きを理解し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ②文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが ら要旨を把握している。	小テスト	●					
							ワークシート		●		
							振り返りシート 作文			●	

				③筆者の示す現代社会の問題を自分事としてとらえ、筆者の主張を主体的に読み取ろうとし、実生活のさまざまな問いに対して補助線を引いて積極的に考えようとしている。	作文		●	●
	2	フォーカス 自分を客観的に 見つめよう	・自分自身を客観視し、認識を深める。 ・必要な情報を集め、整理し、わかりやすくまとめる。	①自分自身に関する情報を組み合わせ、効果的な自己分析シートを作成している。 ②用いる情報を吟味しながら、自分の立場や目的を明確にして、自己アピールのための適切な根拠をそろえている。 ③積極的に学習に取り組み、自分を客観的にとらえようとしている。	自己分析シート		●	●
					振り返りシート			●
9	1			前期期末考査			●	●
	4	第Ⅱ部2思考を深める① 和の思想、間の文化	・筆者の主張と、それを支える根拠の関係を吟味する。 ・論の展開のしかたや具体例の役割について考える。	①主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ②主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ③日本の伝統的な考え方についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、筆者の主張を支える根拠・論拠をとらえようとしている。	小テスト		●	
					ワークシート			●
					振り返りシート			●
	5	第Ⅱ部2思考を深める② ミロのヴィーナス	・筆者の主張と、それを支える根拠の関係を吟味する。 ・論理の展開や比喩的な表現の意図をとらえる。	①主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ②主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ③美についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、筆者の主張を支える根拠・論拠をとらえようとしている。	小テスト		●	
					ワークシート			●
					振り返りシート			●
9 ・ 10	8	論理の窓⑧ 根拠を吟味する観点	・新聞記事を比較しながら読むことを通して、根拠を吟味し、主張の正しさや説得力を批判的に検討する。	①推論における理由づけの適切さについて理解を深めている。 ②主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ③積極的に学習に取り組み、主張と根拠の関係を吟味することについて理解を深めている。	ポスター		●	●
					振り返りシート			●
10	3	第Ⅱ部3社会に向かって	・進路で必要とされる書類についての概要を知り、それぞれの目的をつかむ。	①自らの進路に応じて、志望理由書や自己推薦書を書くために必要な語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 ②進路活動に必要な書類の情報を収集、整理して、必要となる書類を把握している。 ③進路で必要とされる書類について、積極的に知ろうとしている。	ワークシート		●	●
					振り返りシート			●
11	12	第Ⅱ部4視点を変えて 人類の進化から 考えられる「心」の誕生 ロボットに心はあるか クオリアと心	・複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深める。 ・問題提起と答えの関係を的確にとらえ、自分の考えをもつ。	①論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ②「心」についての筆者の主張を、根拠や結論を導く論拠を明確に理解した上で批判的に検討し、内容についての理解を深めている。 ③心についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、関連する文章との比較をおして自分の考えを広げようとしている。	小テスト		●	
					ワークシート			●
					小論文			●
					振り返りシート			●
	1			後期中間考査			●	●
12	10	第Ⅱ部6現代を考える 「である」ことと 「する」こと	・筆者の主張をふまえて、現代社会についての考えを深める。 ・対比の役割を意識して本文を読み、筆者の主張を的確につかむ。	①論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ②文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ③日本の社会についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、現代社会についての自分の考えを広げようとしている。	小テスト		●	
					ワークシート			●
					振り返りシート			●
	1	百人一首	・言語文化の担い手としての自覚を深めていく。	①語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ③百人一首に興味をもちながら、文化の継承・担い手としての自覚を深めようとしている。	小テスト		●	
					試合 振り返りシート			● ●
	2	第Ⅱ部7未来に目を向けて 豊かさにつながる	・日本社会や世界が抱える課題に関心をもち、考えを広げたり深めたりする。 ・論理の展開に注意して筆者の主張を的確につかみ、自分の考えをもつ。	①主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ②人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と関連し、新たな観点から自分の考えを深めている。 ③豊かさについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日本社会や世界が抱える課題について、自分の考えを広げようとしている。	小テスト		●	
					ワークシート			●
					振り返りシート			●
3	1			学年末考査			●	●

2024 年度 地理歴史科 シラバス・年間指導計画

科目名	歴史総合			教科書	『新選歴史総合』 東京書籍
学年	2	単位数	2	必修	副教材 授業プリント

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。				
学習の進め方	<p>プリントを配布するので、それを綴じるファイルを用意してください。授業は講義やグループワーク、単元テストを軸に進みます。事前に調べ学習を課すこともあります。</p> <p>この科目の目標は、時間軸で現代的な諸課題を捉えた私たちがそれらとどう向き合っていくのか考察することであり、単なる知識の習得に留まるものではありません。皆さんが、授業で提示される様々な観点を獲得することを期待します。</p>				
評価の観点	観点の趣旨や到達目標				
	①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度				
	①	<ul style="list-style-type: none"> ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 ・諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 			
	②	<ul style="list-style-type: none"> ・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 ・考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。 			
③	<ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などが深まっている。 				

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	1	オリエンテーション						
		2	第1章 歴史の扉 1節 歴史と私たち	諸資料を活用し、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。	②近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現する。	ポートフォリオ		●	
		2	2節 歴史の特質と資料	日本や世界のさまざまな地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、画像などの資料を活用し、資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。	③資料の読み取りについて学習の見通しを立て、自己の課題を追究しようとしている。	ポートフォリオ			●

	2	第2章 近代化と私たち 1節 近代化への問い	交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料を活用し、近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。	③近代化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	ポートフォリオ			●
5	7	2節 結び付く世界と日本の開国①	18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。	①18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、18世紀のアジアの経済と社会を理解している。 ②18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、中学校までの学習も振り返りながら課題を追究しようとしている。	単元テスト	●	●	
		結び付く世界と日本の開国②	産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、工業化と世界市場の形成を理解する。	①産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、工業化と世界市場の形成を理解している。 ②産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、中学校までの学習も振り返りながら課題を追究しようとしている。	単元テスト	●	●	
6	10	3節 国民国家と明治維新①	国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、立憲体制と国民国家の形成を理解する。	①18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、立憲体制と国民国家の形成を理解している。 ②国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	単元テスト	●	●	
		国民国家と明治維新②	帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、列強	①列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 ②帝国主義政策の背景、帝国主義	単元テスト	●	●	
	7							

後期	2		の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。	政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	ポートフォリオ			●	
		4節 近代化と現代的な諸課題	自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点を基に主題を設定し、事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。	③「近代化と私たち」における自身の学習の経緯について、自身の関わりを踏まえて振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	ポートフォリオ			●	
	8	2	第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1節 国際秩序の変化や大衆化への問い	国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料を活用し、国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。	③国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	ポートフォリオ			●
	9	9	2節 第一次世界大戦と大衆社会①	第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。	①第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。 ②大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 ③国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	単元テスト	●	●	
	10					ポートフォリオ			●
			第一次世界大戦と大衆社会②	第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。	①第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ②第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	単元テスト	●	●	
					ポートフォリオ			●	

		3節 経済危機と世界大戦①	経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際協調体制の動揺を理解する。	①世界恐慌、ファシズムの伸長、日本の対外政策などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、国際協調体制の動揺を理解している。 ②第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 ③国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	単元テスト	●	●		
					ポートフォリオ			●	
		11	9	経済危機と世界大戦②	第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。	①経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ②第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	単元テスト	●	●
					ポートフォリオ			●	
		2	4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点を基に主題を設定し、事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。	③「国際秩序の変化や大衆化と私たち」における自身の学習の経緯について、自身の関わりを踏まえて振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	ポートフォリオ			●
	12	2	第4章 グローバル化と私たち 1節 グローバル化への問い	冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料を活用し、グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。	③グローバル化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	ポートフォリオ			●
		8	2節	地域紛争の背景や影響、冷	①脱植民地化とアジア・アフリカ諸	単元テスト	●	●	

1	冷戦と世界経済①	戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際政治の変容を理解する。	国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、国際政治の変容を理解している。 ②西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。 ③グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	ポートフォリオ			●
	冷戦と世界経済②	冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。	①地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ②冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	単元テスト	●	●	
2	3節 世界秩序の変容と日本①	アジア諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、市場経済の変容と課題を理解する。	①石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、市場経済の変容と課題を理解している。 ②アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	単元テスト	●	●	
				ポートフォリオ			●
8	世界秩序の変容と日本②	冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。	①冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。 ②冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較した	単元テスト	●	●	

				り、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	ポートフォリオ			●
3	5	4節 現代的な諸課題の形成と展望	科目のまとめとして、現代的な諸課題に関する主題を設定し、事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、歴史的経緯を踏まえて、持続可能な社会に向けて、現代的な諸課題の展望を探究する。	②事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、主題について、現代的な諸課題を展望するなどして、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③「歴史総合」で学んだ全ての内容における自身の学習の経緯について、自身の関わりを踏まえて振り返るとともに、次の学びに向けての課題を見いだそうとしている。	発表		●	
					ポートフォリオ			●

2024 年度 公民科 シラバス・年間指導計画

科目名	政治経済			教科書	『最新政治・経済』 実教出版
学年	2	単位数	2	必修	副教材

学習目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。				
学習の進め方	教科書とプリントを使って学習します。様々な課題を考える中で、自分の考察と他の人の考察の違いを意識しながら、論理性を磨きます。レポート、ディベート、プレゼンテーションなども取り入れて、自分の言葉で表現する授業です。また、単元テストも実施します。				
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度				
	①	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。			
	②	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。			
	③	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。			

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	1	オリエンテーション						
			第1編 現代日本の政治 第1章 1 民主政治と法	政治、国家、法のあり方について考える。	①政治と国家、政府の役割を理解している。各国の政治制度の特徴について理解し、政治制度に関連する情報を信頼性の高い情報源から収集し、知識の補強を行うことができる。	グループ発表		●	●
			2 民主政治の基本原則	基本的人権の歴史的発展や法の支配について理解する。	②政治や基本的人権の重要性について身近な事例に言及して考察し、適切に表現している。	ディベート	●	●	
			3 民主政治のしくみと課題	民主政治のしくみと課題を理解し、権力分立と立憲主義の重要性を理解する。	③国民主権を担う公民としての自覚をもとに、民主政治のあり方や法の意義、現実の政治制度に関する課題について主体的に理解・追究しようとしている。	新聞レポート	●	●	●
	5	1	4 世界のおもな政治制度	各政治制度の特徴を理解する。		ポートフォリオ	●	●	●
1	単元テスト					●	●	●	
	13	13	第2章 1 日本国憲法の成立	日本国憲法の成立過程を踏まえつつ、明治憲法との違いを理解する。	①日本国憲法の成立過程、憲法改正、自由権・平等権・社会権に関する課題について理解し、判例を収集し、適切に扱うことができている。	グループ発表		●	●
2 日本国憲法の基本原則			日本国憲法の基本原則を理解したうえで、憲法の改正手続きについて考察する。	日米安保体制の背景について理解し、自衛隊の海外活動などの諸情報を適切に扱うことができている。	ディベート	●	●		
3 自由に生きる権利(1)			自由権、社会権、新しい人権、公共の福祉について理解する。	②憲法改正の課題を考察し、自由権、平等権、社会権について考察し表現している。沖縄の基地問題について考察し適切に表現している。	調査プレゼン	●	●	●	
4 自由に生きる権利(2)									
5 平等に生きる権利									

6	6 社会権と参政権・請求権 7 新しい人権 8 人権の広がりと公共の福祉 9 平和主義と自衛隊 10 日米安全保障体制の変化 11 21世紀の平和主義	日本の安全保障政策の展開について理解する。 こんにちの安全保障政策の課題について理解する。	③憲法の最高法規性や日本国憲法の原理、改正手続きなどについて主体的に理解・追究しようとしている。基本的人権が保障されている意義を理解し、社会的な差別の諸課題について、学習したことを社会の改善に生かそうとしている。集団的自衛権について主体的に検討しようとしている。我が国の安全保障と防衛について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	評価レポート	●	●	●
	1 前期中間試験				●	●	●
7	9 第3章 1 政治機構と国会 2 内閣と行政機能の拡大 3 公正な裁判の保障 4 地方自治と住民福祉 5 政党政治 6 選挙制度 7 世論と政治参加	国会の役割や権限について理解する。	①国会、内閣、裁判所、行政改革や司法制度改革について、情報を収集し適切に扱うことができています。地方自治の本旨、住民の意思を反映させる手段について理解し、身近な地域の課題について整理することができています。政党政治の課題、マス・メディアが世論形成と政治にもたらす影響について理解し、インターネットによる世論形成の課題について整理できています。 ②国会、内閣、裁判所の課題、公正な選挙制度のあり方を考察し表現している。SNS やインターネットの普及が世論形成に与えるメリットとデメリットを考察し、表現している。 ③政治機構、地方の課題の概要を理解し、持続可能な地域社会のあり方を探究するための意欲を高めている。民意を政治に反映させるための課題、政治参加と公正な世論形成について主体的に追究し、課題を意欲的に解決しようとしている。	グループ発表		●	●
		内閣の権限と議院内閣制について理解する。		ディベート	●	●	
		司法制度のあり方や司法参加の意義について理解する。		調査プレゼン	●	●	●
		地方自治の本旨や住民の権利について理解する。		評価レポート	●	●	●
		地方がかかえる課題について理解する。 日本の政党政治の特徴と課題について理解する。 マス・メディアや市民運動の意義について理解する。		ポートフォリオ	●	●	●
8	1 単元テスト				●	●	●
9	7 第2編 現代日本の経済 第1章 1 経済活動の意義 2 経済社会の変容 3 経済主体と市場の働き 4 企業の役割 5 国民所得 6 経済成長と国民の福祉	経済的な効率性と公平性の対立関係と、政府の規模を念頭にして、経済的な課題への対応を考える。	①資本主義経済の展開、政府の役割の変化について効率性と公平性の面からも理解している。経済指標では計りきれない福祉や環境的側面の指標を理解している。 ②資源の効率的な配分について、効率性と公平性から考察し、政府の役割の変化を考察・構想し、企業の責任や、景気変動の影響、景気安定化政策について考察し、構想したことを、論拠をもって表現している。 ③経済的な効率性と公平性の関係について学習したことを社会生活に生かそうとしている。企業の社会的責任や法令順守の姿勢について追究し、現代の諸課題を解決しようとしている。経済的な豊かさや幸福について、どのように評価するべきかという観点から、主体的に考えを導きだそうとしている。	グループ発表		●	●
		経済主体を理解し、需給曲線を通して市場メカニズムを考える。		調査プレゼン	●	●	●
		市場の効率性と公平性はどのように調整されるべきか、企業の役割と社会的責任について考える。		ディベート	●	●	
		経済成長と私たちの豊かな生活について考える。		新聞レポート	●	●	●
				ポートフォリオ	●	●	●
5	7 7 金融の役割 8 日本銀行の役割 9 財政の役割と租税 10 日本の財政の課題	金融を通じた経済活動の活性化について考える。 中央銀行の役割について理解する。	①金融の役割や金融政策、財政の現状と課題について理解している。 ②景気変動と日本銀行の政策について考察、構想したことを、論拠をもって表現している。一般会計の歳入・歳出について考察し、適切に表現している。 ③金融商品についての関心を高め、学習内容を社会生活に生かそうとしている。日本の財政の現状と課題を理解し、財政健全化のあり方を探究するための意欲を高めている。	グループ発表		●	●
		財政の持つ様々な役割について考える。		ディベート	●	●	
		納税者としての立場から租税のあり方について考える、日本の財政の現状を理解し、これからの財政のあり方考える。		新聞レポート	●	●	●
				ポートフォリオ	●	●	●

10	1	単元テスト			●	●	●	
	9	第2編 第2章	<p>歴史的な事象が日本経済に与えた影響を、統計資料を基に考える。</p> <p>人口減少社会と格差・貧困が与える影響、経済の二重構造に注目して日本経済のあり方を考える。</p> <p>消費者行政の内容を知り、契約の権利と責任の関係を考え、法制度と、私たち消費者の行動について考える。</p> <p>労働法の整備状況や、職場の人権保障について考える。日本的雇用形態の変化や、ワーク・ライフ・バランスについて考える。</p> <p>諸外国の制度との比較も含めて考え、少子高齢化や日本の財政の現状も踏まえながら、今後の課題を理解する。</p>	<p>①戦後復興、高度経済成長、バブル経済について特徴を理解している。中小企業の課題を理解し、消費者行政と循環型社会の理念を理解し、信頼性の高い情報源から収集し整理することができている。日本の社会保障制度を諸外国との比較から読み取り理解している。</p> <p>②経済的課題について考察したうえで、経済政策を選択・判断して表現している。消費者主権の観点から協働的に考察し適切に表現している。社会保障のあり方について、協働的に考察し適切に表現している。</p> <p>③日本経済や食料安全保障などについて主体的に追究し、日本の農政の課題を意欲的に解決しようとしている。消費者問題について、よりよい社会の実現を視野に、循環型社会の実現に向けた諸施策などの学習したことを、社会生活に生かそうとしている。社会保障の課題を意欲的に解決しようとし、現状と課題を理解したうえで、持続可能な福祉社会の実現を探究するための意欲を高めている。</p>	グループ発表		●	●
		1 日本経済の成長と課題			調査プレゼン	●	●	●
		2 中小企業と農業			ディベート	●	●	
		3 消費者問題			新聞レポート	●	●	●
		4 公害防止と環境保全			ポートフォリオ	●	●	●
		5 労働問題と労働者の権利						
		6 こんにちの労働問題						
	7 社会保障の役割と課題							
	11	1	単元テスト			●	●	●
12	3	第3編 現代日本における諸課題の探究	<p>これまで取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述させる。</p>	<p>①各課題に関連する知識を理解し、考察に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。</p> <p>②社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、各課題の解決策を考察し、自身の考えを説明している。</p> <p>③日本の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。</p>	計画書	●	●	●
		プレゼン発表			●	●	●	
		評価レポート			●	●	●	
1	7	第2部 現代の国際政治・国際経済 第1編 現代の国際政治 1 国際社会と国際法	<p>世界大戦が国際法と国際政治に与えた影響と、国際連合の主要機関の働きについて考える。</p> <p>国際社会の力学の変化を考え、大国の動向や、国家対国家の枠組みに収まらない対立構造、ナショナリズムや自民族中心主義との関係について考える。</p> <p>冷戦による対立構造と安全保障のジレンマを確認し、核兵器禁止条約の採択に向けた動きを参考に考える。</p> <p>人間の安全保障の観点から考える。</p>	<p>①国際社会の成り立ち、冷戦構造の影響、中東の民主化運動など、国際政治の課題を理解している。戦後の主権回復と国際社会への復帰について、経過を理解している。</p> <p>②国際政治と国際連合の課題について協働的に考察し表現している。冷戦終結後の紛争と、核保有国を増やさないための考察をしている。日本の領土問題について、多面的に考察している。</p> <p>③国際連合のしくみ、持続可能な平和のあり方を探究するための意欲を高めている。難民について追究し、意欲的に解決しようとしている。軍縮における合意形成の過程を参考に、国際貢献について主体的に追究し、様々な観点から、課題を意欲的に解決しようとしている。</p>	グループ発表		●	●
		2 国際社会の変化			ディベート	●	●	
		3 国際連合と国際協力			新聞レポート	●	●	●
		4 こんにちの国際政治			ポートフォリオ	●	●	●
		5 人種・民族問題						
		6 軍拡競争から軍縮へ						
		7 日本の外交と国際社会での役割						
1	1	単元テスト			●	●	●	
2	2	第2編 第1章 1 貿易と国際収支	<p>比較生産費説の理論を検討し、貿易収支の数値から一国の貿易の動向を確認する。</p> <p>外国為替市場における需要と供給の関係を確認し、具体的な事例を基にして為替相場の動向が経済に与える影響を考える。</p>	<p>①自由貿易と保護貿易が提唱される理由、先進国でも保護貿易の動きがあることを理解している。</p> <p>②自由貿易が世界全体の発展に寄与するという仮説が適切かどうか、協働的に考察し表現している。</p> <p>③先進国が保護貿易的な動きを見せていることについて主体的に追究し、望ましい貿易のあり方を意欲的に探究しようとしている。</p>	グループ発表		●	●
		2 外国為替市場のしくみ			調査プレゼン	●	●	●
					新聞レポート	●	●	●
					ポートフォリオ	●	●	●

2	8	第2章 1 第2次世界大戦後の国際経済	戦後のIMF体制の変遷、WTOがかかえる課題を理解する。 先進国と途上国の対立や、二国間交渉への傾倒などから課題を考え、中国とインドの現状と課題を理解する。 資源ナショナリズムや新国際経済秩序樹立に関する宣言など途上国間の経済格差について理解する。 エネルギー資源の歴史と化石燃料が大量消費される背景を理解する。 援助と開発の過程について確認する。	①IMFとGATTに代表される国際経済体制について、その概要を理解し、各地域でのような経済統合が形成されていったかについて理解している。先進国によるODAについて理解している。 ②公正な国際貿易体制、各国の経済的格差の課題などについて考察し、適切に表現している。パリ協定にもとづく各国の二酸化炭素削減目標を踏まえながら、目標を達成・実現するための手段について興味関心を持ち、地球環境問題、資源エネルギー問題を探究するための意欲を高めて、適切に表現している ③公正な国際貿易体制のあり方について主体的に追究し、貿易のルール作りに関する課題を意欲的に解決しようとしている。EUの統合について主体的に追究し経済統合のひずみをどのように解消するかを意欲的に検討している。	グループ発表		●	●
		2 国際経済の動向			ディベート	●	●	
3 新興国の台頭		評価レポート			●	●	●	
4 経済のグローバル化と ICTでかわる世界経済		ポートフォリオ			●	●	●	
5 発展途上国の課題と展望								
6 地球環境問題、資源エネルギー問題								
7 経済協力と日本の役割								
3		3			第3篇 国際社会における諸課題の研究		①各課題に関連する知識を整理し、理解している。 ・各課題の解決に向けた考察・構想に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 ②・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、各課題の解決策を多面的・多角的に考察、構想し、持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明、論述している。 ③・よりよい社会の実現のために、国際社会の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	グループ発表
			ディベート	●	●			
			評価レポート	●	●	●		
			ポートフォリオ	●	●	●		
	1	単元テスト			●	●	●	

2024年度 数学科 シラバス・年間指導計画

科目名	数学Ⅱ			教科書	新編 数学Ⅰ (数研出版)
学年	2	単位数	3 (引続き,3学次 2単位)	必修	副教材
書き込み式シリーズ 教科書傍用 Study-Up ノート 新課程 標準 数学Ⅱ (数研出版)					

学習目標	いろいろな式, 図形と方程式, 指数関数・対数関数, 三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに, それらを活用する態度を育てる。
------	---

学習の進め方	毎時間, 学習内容に沿った授業プリントを配付して授業を進める。時に, クロムブック等を活用する。演習等に多くの時間をかけるようにする。グループワーク等を取り入れながら, 理解を深め, 時には発表する場も設けていく。
--------	---

評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度	
	①	いろいろな式, 図形と方程式, 指数関数・対数関数, 三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
	②	数の範囲や式の性質に着目し, 等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力, 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し, 方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり, 図形の性質を論理的に考察したりする力, 関数関係に着目し, 事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力, 関数の局所的な変化に着目し, 事象を数学的に考察したり, 問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
	③	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	1	オリエンテーション						
	4・5	9	第1章 数と証明 ・多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにする。 ・数の範囲や式の性質に着目し, 等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。	第1節 式と計算 ・3次式の展開と因数分解 ・二項定理 ・多項式の割り算 ・分数式とその計算 ・恒等式	① ・3次式の展開・因数分解の公式を利用することができる。 ・二項定理を利用して, 展開式やその項の係数を求めることができたり, 等式の証明に活用できる。 ・パスカルの三角形の性質を理解し, 活用できる。 ・多項式の割り算の計算方法を理解している。 ・割り算で成り立つ等式を理解し, 利用することができる。 ・分数式の約分, 四則計算ができる。	小テスト ・単元テスト	●	●	
						レポート・発表		●	●

前期				<ul style="list-style-type: none"> ・恒等式となるように、係数を決定することができる。 ② <ul style="list-style-type: none"> ・二項定理をパスカルの三角形と結びつけて考えることができる。 ・多項式の割り算の結果を等式で表して考えることができる。 ・分数式を分数と同じように約分、通分して扱うことができる。 ・恒等式における文字の役割の違いを認識できる。 ③ <ul style="list-style-type: none"> ・因数分解の検算に展開を利用しようとする態度がある。 ・恒等式の性質を理解し、具体的な問題に取り組もうとする。 ・2種類の文字を含む多項式の割り算に興味を示し、具体的な問題に取り組もうとする。 ・恒等式の係数を決定する際に、係数比較法と数値代入法とを、比較して考察しようとする。 	ポートフォリオ			●	
前期	5・6	8	第1章 数と証明	第2節 等式・不等式の証明 <ul style="list-style-type: none"> ・等式の証明 ・不等式の証明 	① <ul style="list-style-type: none"> ・恒等式 $A = B$ の証明を、適切な方法で行うことができる。 ・比例式を $=k$ において処理することができる。 ・平方の大小関係を利用して、不等式を証明することができる。 ・絶対値を含む不等式を証明することができる。 ・相加平均・相乗平均の大小関係を利用して、不等式を証明することができる。 	小テスト ・単元テスト	●	●	
					② <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた条件式の利用方法を考え、等式を証明することができる。 ・不等式 $A > B$ を証明するとき、$A - B > 0$ を示してもよいことを利用して、不等式を証明することができる。 ・不等式の証明に実数の性質を利用できるように、式変形を考えることができる。 ・不等式の証明で、等号の成り立つ場合について考察できる。 ・同値な不等式を証明することで、もとの不等式を証明することができる。 	レポート・発表		●	●
					③ <ul style="list-style-type: none"> ・比例式を含む等式の証明を通じて、加比の理に興味をもち、考察しようとする。 ・不等式の証明を通じて、三角不等式に興味・関心をもち、それを利用しようとする。 ・相加平均や相乗平均だけでなく、それらと調和平均の大小関係についても興味をもって取り組もうとする。 	ポートフォリオ		●	●
	6	1	前期中間試験				●	●	●

前期	6・7	12	<p>第2章 複素数と方程式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにする。 ・剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。 	<p>第1節 複素数と2次方程式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数とその計算 ・2次方程式の解 ・解と係数の関係 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数, 複素数の相等の定義を理解している。 ・複素数の四則計算ができる。 ・負の数の平方根を理解している。 ・負の数の平方根を含む式の計算を, i を用いて処理することができる。 ・判別式を利用して, 2次方程式の解の種類を判別することができる。 ・解と係数の関係を使って, 対称式の値や2次方程式の係数を求めることができる。 ・対称式を基本対称式で表して, 式の値を求めることができる。 ・2次方程式の解を利用して, 2次式を因数分解できる。 ・2数を解とする2次方程式を作ることができる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数の四則計算の結果は複素数であることを理解している。 ・判別式 D の代わりに "$D/4$" を用いても解の種類を判別できることを理解し, 積極的に用いようとする。 ・与えられた2数を解にもつ2次方程式が1つには定まらないことを理解している。 ・異なる2つの実数 α, β が正の数, 負の数, 異符号であることを, 同値な式で表現できる。 ・2次方程式の解の符号に関する問題を, 解と係数の関係を利用して解くことができる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次方程式が常に解をもつように考えられた複素数に興味・関心を示し, 考察しようとする。 ・2次方程式の解が虚数になる場合もあることに興味を示し, 2次方程式の解を考察しようとする。 ・2次式を複素数の範囲で因数分解することに興味をもち, 問題に取り組もうとする。 ・2次方程式の解の符号を2次関数のグラフで考察することに興味をもち, 問題に取り組もうとする。 	<p>小テスト ・単元テスト</p> <p>● ●</p>	<p>レポート・発表</p> <p>● ●</p>	<p>ポートフォリオ</p> <p>●</p>
			前期	8・9	8	<p>第2章 複素数と方程式</p>	<p>第2節 高次方程式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・剰余の定理と因数定理 ・高次方程式 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・剰余の定理を利用して, 多項式を1次式や2次式で割ったときの余りを求めることができる。 ・$P(k)=0$ である k の値の調べ方を理解し, 高次式を因数分解できる。 ・因数分解や因数定理を利用して, 高次方程式を解くことができる。 ・高次方程式の虚数解から, 方程式の係数を決定することができる。 ・高次方程式が虚数解 $a+bi$ を解にもつば, $a-bi$ を解にもつことを利用できる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多項式を1次式で割ったときの余りについて, 剰余の定理で考察することができる。

前期					<ul style="list-style-type: none"> ・多項式 $P(x)$ が $x-k$ で割り切れることを式で表現することができる。 ・高次方程式を1次方程式や2次方程式に帰着させることができる。 ・高次方程式が解 α をもつことを、式を用いて表現できる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多項式を1次式で割る計算に、組立除法を積極的に利用する。 ・1の3乗根の性質に興味・関心を持ち、具体的な問題に取り組もうとする。 ・1の3乗根 ω の性質に興味・関心を持ち、問題に取り組もうとする。 	ポートフォリオ		●	●
	9	1	前期期末試験				●	●	●
後期	9・10	8	<p>第3章 図形と方程式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 ・座標や式を用いて、円の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 ・図形を、与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 	<p>第1節 点と直線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直線上の点 ・平面上の点 ・直線の方程式 ・2直線の関係 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数直線上において、2点間の距離、線分の内分点、外分点の座標が求められる。 ・座標平面上において、2点間の距離が求められる。 ・座標平面上において、線分の内分点、外分点の座標が求められる。 ・与えられた条件を満たす直線の方程式の求め方を理解している。 ・2直線の平行・垂直条件を理解して、それを利用できる。 ・図形 $F(x,y)=0$ が点 (s,t) を通ることを $F(s,t)=0$ として処理できる。 ・点と直線の距離の公式を理解して、それを利用することができる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・線分の内分点、外分点の公式を統一して捉えようとする。 ・図形の性質を証明する際に、計算が簡単になるように座標軸を適切に設定できる。 ・図形的条件(線対称など)を式で表現できる。 ・直線に関して対称な点の座標を求めることができる。 ・点の座標を求めるのに、図形の性質を適切に利用できる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の問題を座標平面上で代数的に解決する解法のよさを知ろうとする。 ・ある点を通り与えられた直線に平行な直線、垂直な直線の方程式を公式化し、利用しようとする。 ・2直線の交点を通る直線の方程式に興味・関心を持ち、具体的な問題に利用しようとする。 ・垂心について、直線の方程式を利用して代数的に考察しようとする。 	小テスト ・単元テスト	●	●	
					レポート・発表			●	●
					ポートフォリオ				●

後期	10・11	6	第3章 図形と方程式	第2節 円 ・円の方程式 ・円と直線 ・2つの円	① ・与えられた条件を満たす円の方程式の求め方を理解している。 ・ x, y の2次方程式を変形して、その方程式が表す図形を調べることができる。 ・3点を通る円の方程式を求めることができる。 ・円と直線の共有点の座標を求めることができる。 ・円の接線の公式を理解して、それを利用できる。 ・円外の点から引いた接線の方程式を求めることができる。 ・2つの円の位置関係を、中心間の距離と半径の関係から調べることができる。 ・2つの円の共有点の座標を求める際に、適切な方法で文字を消去することができる。 ② ・円の方程式が x, y の2次方程式で表されることを理解している。 ・円と直線の共有点の個数を、2次方程式の実数解の個数で考察することができる。 ・円の中心から直線までの距離と円の半径の大小関係を代数的に処理することで、円と直線の位置関係を考察することができる。 ・2つの円の位置関係を、中心間の距離と半径の関係で考察することができる。 ③ ・ x, y の2次方程式が常に円を表すとは限らないことを考察しようとする。 ・円と直線の位置関係を、2次方程式の判別式や、円の中心から直線までの距離と円の半径の大小関係により調べようとする。 ・2つの円の交点を通る円の方程式に興味・関心を持ち、具体的な問題に利用しようとする。	小テスト ・単元テスト	●		
			レポート・発表		●	●			
			ポートフォリオ		●	●			
後期	10・11	6	第3章 図形と方程式	第3節 軌跡と領域 ・軌跡と方程式 ・不等式の表す領域	① ・点が満たす条件から得られた方程式を、図形として考察することができる。 ・軌跡の定義を理解し、与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。 ・媒介変数処理が必要な軌跡の求め方を理解している。 ・不等式・連立不等式の表す領域を図示することができる。 ・領域を利用する1次式の最大値・最小値の求め方を理解している。	小テスト ・単元テスト	●	●	
			レポート・発表		●				

後期	10・11				<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平面上の点の軌跡を、座標平面を利用して考察することができる。 ・軌跡を求めるには、逆についても調べる必要があることを理解している。 ・不等式の満たす解を、座標平面上の点の集合としてみるることができる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点が満たす条件から得られた方程式がどのような図形を表しているかを考察しようとする。 ・少し複雑な不等式の表す領域についても、興味をもち、取り組もうとする。 ・不等式を含む命題を、不等式の表す領域を用いて証明することに興味・関心をもつ。 	ポートフォリオ			●
後期	11・12・11	11	<p>第4章 三角関数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。 ・加法定理を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 	<p>第1節 三角関数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・角の拡張 ・三角関数 ・三角関数のグラフ ・三角関数の性質 ・三角関数を含む方程式、不等式 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般角を表す動径を図示したり、動径の表す角を $\alpha + 360^\circ \times n$ と表したりすることができる。 ・角度の表し方に度数法と弧度法があることを理解している。また、弧度法の定義を理解し、度数法と弧度法の換算をすることができる。 ・弧度法で表された角の三角関数の値を、三角関数の定義によって求めることができる。 	小テスト ・単元テスト	●		
						レポート・発表		●	●

後期	11・12・1			<ul style="list-style-type: none"> ・三角関数の相互関係を理解し、それらを利用して様々な値を求めたり、式変形をしたりすることができる。 ・いろいろな三角関数のグラフのかき方と周期の求め方を理解している。 ・三角関数の性質とグラフの特徴を相互に理解している。 ・三角関数を含む2次方程式の解き方を理解している。 ・三角関数を含む関数の最大値・最小値を求めることができる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弧の長さで角を図る方法として、弧度法を考察することができる。 ・三角比の定義を、三角関数の定義に一般化することができる。 ・単位円上の点の動きから、三角関数のグラフを考えることができる。 ・三角関数の性質を、グラフの特徴とともに考察することができる。 ・三角関数を含む方程式・不等式を解く際に、単位円やグラフを図示して考察することができる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角比の定義を一般化して、三角関数の定義を考察しようとする。 ・$y=\sin\theta$ と $y=\cos\theta$ のグラフが同じ形の曲線であることに興味・関心をもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・単位円や三角関数のグラフを利用して、三角関数の性質を調べようとする。 ・三角関数を含む方程式・不等式を解くことに取り組む意欲がある。 ・サインカーブが円柱の切り口に現れることに興味・関心をもち、身近な例を調べようとする。 	ポートフォリオ	●	●	
	12	1	後期中間試験			●	●	●
後期	1・2	10	第4章 三角関数	第2節 加法定理 ・加法定理 ・加法定理の応用	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加法定理を利用して、種々の三角関数の値を求めることができる。 ・正接の加法定理を利用して、2直線のなす角を考えることができる。 	小テスト ・単元テスト	●	●

後期					<ul style="list-style-type: none"> ・2倍角, 半角の公式などを利用して, 三角関数の値を求めたり, 等式を証明したり, 三角関数を含むやや複雑な方程式・不等式を解くことができる。 ・三角関数の合成について理解している。 ② ・角を弧度法で表した場合にも, 加法定理が適用できる。 ・xの関数$y=asinx+bcosx$の式を適切に変形することで, 関数の最大値・最小値を求めることができる。 ・合成後の変数のとる値の範囲に注意して, $asinx+bcosx=k$の形の方程式を解くことができる。 ③ ・加法定理の証明について, 一般角に対しても成り立つことに興味をもち, 考察しようとする。 ・同じ周期をもつ2つの関数$y=sinx$と$y=cosx$を合成するとそのグラフは位相がずれた正弦曲線になることに興味・関心をもつ。 ・加法定理を利用して, 座標平面上の点の回転を考察することに関心をもち, 具体的な問題に取り組もうとする。 	レポート・発表	●	●
					ポートフォリオ		●	
後期	2・3	5	第5章 指数関数と対数関数 (指数関数まで。)	第1節 指数関数 <ul style="list-style-type: none"> ・指数の拡張 ・指数関数 	① <ul style="list-style-type: none"> ・指数が整数の場合の累乗の定義を理解し, 累乗の計算や, 指数法則を利用した計算をすることができる。 ・累乗根の定義を理解し, 累乗根の計算ができる。 ・指数が有理数の場合の累乗の定義を理解し, 累乗の計算や, 指数法則を利用した計算をすることができる。また, 累乗根を含む計算では, 分数指数を利用して計算することができる。 ・指数関数のグラフの概形, 特徴を理解している。 ・底と1の大小に注意して, 指数関数を含む不等式を解くことができる。 ・x軸方向, y軸方向に平行移動した指数関数のグラフをかくことができる。 	小テスト ・単元テスト	●	
			<ul style="list-style-type: none"> ・指数関数について理解し, それらを事象の考察に活用できるようにする。 	レポート・発表	●	●		

後期				<ul style="list-style-type: none"> ・$a^x > 0$ に注意して, おき換えによって指数方程式・不等式を解くことができる。 ② <ul style="list-style-type: none"> ・指数法則が成り立つように, 指数の範囲を正の整数から実数にまで拡張していることを理解している。 ・累乗根をグラフによって考察することができる。 ・指数関数 $y = a^x$ のグラフが定点 $(0, 1)$ を通ることを理解している。 ・指数関数の増減によって, 大小関係や不等式・方程式を考察することができる。 ③ <ul style="list-style-type: none"> ・累乗根の性質に興味を示し, 具体的に証明しようとする。 ・負の数の n 乗根に興味を示し, 具体的に理解しようとする。 ・指数関数のグラフの概形を, 点をプロットしてかこうとする意欲がある。 	ポートフォリオ		●	●
	3	1	学年末試験			●	●	●

2024年度 理科 シラバス・年間指導計画

科目名	化学基礎			教科書	第一学習社 高等学校 新化学基礎
学年	2	単位数	2	必修	副教材 第一学習社 ネオパルノート 化学基礎

学習目標	物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。	
学習の進め方	プリントを配布するので、それを綴じるファイルを用意して下さい。授業は講義、グループ学習、実験、レポート作成、発表を通じて進めます。実験を行う際には、原理原則に基づき、結果を予測して行います。身近な物質やその変化を考える上で、重要な語句や関係式が出てきます。科学的に探究を行うために必要となる知識となります。あいまいなままにせず、理解するように努め、不明点を質問したり、調査する等行動をしてください。	
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ① …知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度	
	①	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験などを行い、レポートを作成する。観察・実験に対する姿勢、予想や考察、器具の操作、報告書などから評価する。 ・自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。 ・授業内容に合わせた問いを出題する。与えられた問いに対して正確に答えることができる。
	②	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験などを行い、レポートを作成する。結果を基に、事象を科学的に考察し、導き出した結論を正確に表現することができる。 ・自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 ・授業内容に合わせた問いを出題する。与えられた問いに対する答えを、正確に表現することができる。
	③	<ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 ・自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	1	オリエンテーション	授業の進め方について					
		3	序章 化学と人間生活 ・化学とは何だろうか? ・探究の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なものをを用いた実験を行い、「化学」がどのような学問なのかについて理解する。 ・液体を見分ける実験を通して、探究の方法を習得する。 ・報告書の書き方について理解する。 	① 知識・技能 ・化学が物質やその変化を対象とする学問であることを理解している。 ・物質の性質を調べる活動を通して、科学的に探究する方法を身に付けている。 ・数値の取り扱い方を理解している。	レポート	●	●	●

		特集 数値の取り扱い	・数値の取り扱い方について理解を深める。	② 思考・判断・表現 ・物質の性質を調べる活動において、科学的に探究する方法を提案したり、実験結果を科学的に考察したりすることができる。 ③ 主体的に学習する態度 ・課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとしている。	ポートフォリオ			●		
					小テスト	●				
前期	5	第1章 物質の構成 第1節 物質とその構成要素 1 物質の分離(1) 2 物質の分離(2)	・自然界に存在するものの多くが混合物で、混合する割合によって、沸点や密度などの値が変化することについて理解する。 ・混合物を構成する物質の性質を利用した、混合物の分離操作について、具体的な操作方法や注意点について理解する。 ・それぞれの分離方法について、人間生活における利用方法について理解する。 ・さまざまな混合物について、適切な分離操作を判断できるようになる。	① 知識・技能 ・物質の分離や精製の実験などを行い、実験における基本操作と物質を探究する方法を身に付けている。 ・混合物の成分の割合による違いについて理解している。 ・物質を構成する成分について、元素記号で正確に表記することができる。 ・各元素の電子配置について、正確に記述することができる。 ・金属元素と非金属元素のそれぞれについて理解している。 ・原子の構造および陽子、中性子、電子の性質を理解している。 ・元素の周期律および電子配置と周期表の族や周期との関係について理解している。 ・安全に観察・実験を行うことができる。	レポート	●	●	●		
		3 物質を構成する元素 4 元素の確認	・物質を構成する基本成分が元素であること、元素記号で表記できると注意点を理解し、表現できるようになる。 ・混合物と純物質、化合物の違いについて理解する。 ・同素体によって性質が異なることを理解し、表現できるようになる。 ・物質を構成する元素の同定実験について理解し、判断できるようになる。	② 思考・判断・表現 ・混合物の種類に応じて、適切な分離操作を判断することができる。 ・混合物と純物、化合物の違いについて表現することができる。 ・同素体によって異なる性質について表現することができる。 ・物質を構成する元素について、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現することができる。 ・異なる状態の同一成分の物質が持つ違いを表現することができる。	ポートフォリオ			●		
		5 物質の三態	・異なる状態の同一成分の物質において、どのような違いがあるかについて理解する。	・同素体によって異なる性質について表現することができる。 ・物質を構成する元素について、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現することができる。 ・異なる状態の同一成分の物質が持つ違いを表現することができる。	レポート	●	●	●		
		6 原子のなりたち	・原子の構造について理解する。	・同位体における共通点と相違点について表現することができる。 ・金属元素と非金属元素のそれぞれの特徴について表現することができる。	レポート	●	●	●		
		7 同位体とその利用	・同位体における共通点と相違点について理解する。 ・同位体の利用方法について理解する。	・粒子の熱運動と温度の関係、粒子の熱運動と物質の三態との関連について表現することができる。 ・元素の周期律および電子配置と周期表の族や周期との関係について表現することができる。	ポートフォリオ			●		
		8 原子の電子配置 9 元素の周期律と周期表	・電子が層状になるように配置されていることを理解する。 ・価電子の個数が化学反応や化学結合において重要な働きをすることを理解し、表現できるようになる。 ・各原子の電子配置を記述できるようになる。 ・典型元素と遷移元素、金属元素と非金属元素について、それぞれどのような特徴があるか理解する。	③ 主体的に学習する態度 ・日常生活や社会との関連を図りながら、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けようとしている。 ・観察・実験に取り組み、意欲的に探究しようとしている。 ・物質の変化やなりたちに主体的に関わり、継続的に学習をしている。	レポート	●	●	●		
						ポートフォリオ			●	
						小テスト	●	●		
		6	2	前期中間調査				●	●	●

		解説						
	5	第1章 物質の構成 第2節 化学結合 1 イオン(1) 2 イオン(2) 3 イオン結合 4 イオンからなる物質	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンの形成の仕方や元素ごとのイオンのなりやすさについて理解する。 ・イオン結合の性質について理解する。 ・イオン結晶の構造や性質を理解する。 ・身近に利用されているイオン結晶を例に、日常生活と化学の関わりについて理解を深める。 	① 知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・イオン形成の仕方やイオン化のしやすさについて理解している。 ・イオン結合およびイオン結合でできた物質の特徴を理解している。 ・金属の性質および金属結合を理解している。 ・物質について、様々な式で記述することができる。 	レポート	●	●	●
					ポートフォリオ			●
					小テスト	●	●	
	7	5 共有結合(1) 6 共有結合(2) 7 分子の極性 8 分子間に働く力	<ul style="list-style-type: none"> ・共有結合による分子形成の仕方について理解する。 ・電子式とその書き方について理解する。 ・配位結合について理解する。 ・電気陰性度と結合の極性について、関連付けて説明できるようになる。 ・分子結晶について理解する。 	② 思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・イオン結合の性質について表現することができる。 ・さまざまな結晶から特徴を見出し、判断することができる。 ・電気陰性度と結合の極性を関連付けて表現することができる。 ・観察・実験を通して、高分子化合物の構造や特徴について考察し、表現することができる。 	レポート	●	●	●
					ポートフォリオ			●
					小テスト	●	●	
	4	9 分子からなる物質 10 共有結合の結晶 11 金属結合と金属結晶	<ul style="list-style-type: none"> ・有機化合物の定義について理解し、表現できるようになる。 ・さまざまな高分子化合物について分類することができる。 ・共有結合の結晶について理解する。 ・炭素について構造の違いによる性質の違いを表現できる。 ・金属結晶と自由電子の関係について理解している。 	③ 主体的に学習する態度 <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会との関連を図りながら、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けようとしている。 ・観察・実験に取り組み、意欲的に探究しようとしている。 ・さまざまな物質に主体的に関わり、継続的に学習をしている。 	レポート	●	●	●
					ポートフォリオ			●
					小テスト	●	●	
	8	2 前期末考査 解説				●	●	●
後期	9	第2章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式 1 原子量 2 分子量・式量 3 物質と粒子の数 4 物質と質量 5 物質と気体の体積 6 溶解と濃度	<ul style="list-style-type: none"> ・相対質量という考え方について理解する。 ・原子量の概数を用いて、分子量や式量を求められるようになる。 ・物質という定義を理解するとともに、アボガドロ定数や mol という単位を活用できるようになる。 ・物質と粒子の数、質量、気体の体積を変換できるようになる。 ・アボガドロの法則と気体の密度、質量を関連付けて表現できるようになる。 ・モル濃度の定義を理解するとともに、溶液のモル濃度や溶液中の溶質の質量を求められるようになる。 	① 知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・原子量の概数を用いて、原子量や式量を求めることができる。 ・物質と質量、物質と気体の体積との関係について理解している。 ・物質と粒子の数、質量、気体の体積を変換することができる。 ・反応物と生成物から化学反応式を立てることができる。 ・有効数字を適切に扱うことができる。 ・安全に観察・実験を行うことができる。 	レポート	●	●	●
					ポートフォリオ			●
						小テスト	●	●
	10	7 化学反応式(1) 8 化学反応式(2) 9 化学反応の量的関係	<ul style="list-style-type: none"> ・化学反応式のつくり方と係数の扱い方について理解する。 ・反応物の組み合わせと生成物の組み合わせから、化学反応式を組み立てられるようになる。 ・実験データの処理について、有効数字の取り扱い方を理解する。 ・グラフの作成の仕方について理解する。 	③ 主体的に学習する態度 <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会との関連を図りながら、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けようとしている。 ・観察・実験に取り組み、意欲的に探究しようとしている。 ・物質の変化について、主体的に関わり、継続的に学習を行っている。 	レポート	●	●	●
					ポートフォリオ			●
					小テスト	●	●	

後期	11	4	<p>第2章 物質の変化 第2節 酸・塩基とその反応 1 酸と塩基 2 三塩基の強弱 3 水素イオン濃度とpH 4 pHの測定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アレニウスの定義とブレンステッド・ローリーの定義のそれぞれについて理解し、表現できるようになる。 ・酸性と塩基性の強弱とH^+、OH^-の濃度の関係について理解し、表現することができる。 ・水溶液の濃度と電離度から水溶液中のH^+の濃度を求められるようになる。 ・水溶液の濃度から水素イオン濃度やpHを求める方法を理解し、指示薬の変 	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレニウスの定義とブレンステッド・ローリーの定義について理解している。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレニウスの定義とブレンステッド・ローリーの定義のそれぞれの視点から考察し、酸と塩基の強弱について判断することができる。 ・pH指示薬を用いた実験について、変色域と色調の変化から化学的に考察し、表現することができる。 	レポート	●	●	●	
				色域と色調の変化について表現することができる。	<p>③ 主体的に学習する態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会との関連を図りながら、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けようとしている。 	ポートフォリオ			●	
		12	2	後期中間考査 解説			小テスト	●	●	●
			6	<p>5 中和と塩 6 中和の量的関係 7 中和滴定 8 中和滴定曲線</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・塩の水溶液の性質を判断できるようになる。 ・中和反応について理解する。 ・中和に必要な酸や塩基の濃度や体積などを求められるようになる。 ・中和滴定に用いる実験器具や実験方法を理解する。 ・中和滴定曲線について、グラフの特徴や酸、塩基の種類による違いを理解する。 ・中和滴定における指示薬について、適切なpH指示薬を判断できるようになる。 	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器具の取り扱いや溶液の調整など滴定操作における基本的な技能を身に付けている。 ・安全に実験を行うことができる。 ・酸・塩基の種類による手中和滴定曲線の特徴について理解している。 ・中和滴定におけるpH指示薬について、実験に合わせて適切な試薬を用いることができる。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中和滴定におけるpH指示薬について、実験条件に合わせて適切な試薬を用いることができる。 ・観察・実験などを通して、科学的に考察し、中和反応における物質の量的関係を表現することができる。 <p>③ 主体的に学習する態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会との関連を図りながら、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けようとしている。 ・観察・実験に取り組み、意欲的に探究しようとしている。 ・中和反応について、日常生活と関連付けて、その原理を表現しようとしている。 ・中和反応に主体的に関わり、継続的に学習している。 	レポート	●	●	●
						ポートフォリオ			●	
						小テスト	●	●		
	1	5	<p>第2章 物質の変化 第3節 酸化還元反応 1 酸化と還元 2 酸化数 3 酸化剤と還元剤(1) 4 酸化剤と還元剤(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・酸化還元について、酸素の授受、水素の授受、電子の授受のそれぞれの視点で理解し、表現することができる。 ・酸化数の定義を理解し、酸化数の増減によって酸化、還元を定義づけ、表現することができる。また、酸化数の変化から酸化、還元された物質をそれぞれ判断することができるようになる。 	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酸化還元反応について、酸素の授受、水素の授受、電子の授受のそれぞれについて理解している。 ・半反応式について理解し、式を組み合わせることができる。 ・反応における量的計算を解くことができる。 ・イオン化傾向について理解している。 ・金属の種類と化学反応の違いについて理解している。 ・電池について理解している。 	レポート	●	●	●	
						ポートフォリオ			●	

後期	2	6	<ul style="list-style-type: none"> 5 金属のイオン化傾向 6 金属の反応性 7 電池 8 電気分解 	<ul style="list-style-type: none"> ・半反応式が表すものについて理解し、式を組み立てることができるようになる。 ・酸化還元反応の量的関係を理解し、その量的計算を解くことができるようになる。 ・金属が陽イオンになりやすいことと、酸化、還元を理解する。 ・金属の種類によって還元性が異なり、その違いに応じて反応が起こることを理解する。 ・金属と酸の反応、水との反応、空気中の酸素との反応のそれぞれについて理解し、反応式を表現することができる。 ・酸化還元反応をもちいた技術として、電池の原理を理解する。また、電池内部で起こる反応について表現できるようになる。 ・電解質水溶液における電気分解の仕組みを理解する。 ・電気分解の応用例について説明できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 電解質水溶液における電気分解の仕組みを理解している。 ② 思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・酸化還元反応について、酸素の授受、水素の授受、電子の授受のそれぞれの観点から表現することができる。 ・電池のしくみについて表現することができる。 ③ 主体的に学習する態度 <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会との関連を図りながら、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本技能を身に付けようとしている。観察・実験に取り組み、意欲的に探究しようとしている。 ・酸化還元反応について、日常生活と関連付け、科学的に探究しようとしている。 ・電気分解の応用例について、日常生活と関連付け、科学的に探究しようとしている。 ・酸化還元反応、電気分解に主体的に関わり、継続的に学習している。 	小テスト	●	●		
						レポート	●	●	●	
							ポートフォリオ			●
							小テスト	●	●	
	3	2	後期期末考査解説				●	●	●	

2024年度 保健体育科 シラバス・年間指導計画

科目名	体育			教科書	『新高等保健体育』 大修館書店
学年	2	単位数	2	必修	副教材

学習目標	<p>体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。</p>				
学習の進め方	<p>○ 競技種目の勝敗を競うことだけではなく、技術習得のため、ルールの把握、スキルアップに必要な知識や技能を身に付けることを目的として学習を進めます。</p> <p>○ 運動に対する苦手意識や、競技に対する得意不得意に関わらず、新たな仲間と協力や競い合いを通し、コミュニケーション能力の向上を図ってください。</p> <p>○ 与えられた運動をただ行うだけではなく、自分や仲間の課題がどこにあるのか、課題解決のためには何をどのようにすればいいのかなど、PDCA サイクルが非常に大事になります。併せてポートフォリオなどを駆使し、授業に臨んでください。</p> <p>○ 体育の「学力」とは、基礎的な知識・技能を基に意欲をもって「運動を実践する力」のことを指します。できる、できないではなく、やるかどうかですので、不得意、苦手、嫌いでも、ぜひ、積極的に授業に参加しましょう。</p>				
評価の観点	<p>観点の趣旨や到達目標</p> <p>①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度</p>				
	①	<p>運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。</p>			
	②	<p>自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。</p>			
	③	<p>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>			

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価			
							①	②	③	
前期	4	1	オリエンテーション							
			4	体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動計画を立て取り組むこと。仲間と動きを合わせたり、対応したりする運動を行う。のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行う。柔軟性を高める運動をする。	○知識 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。	行動観察 正しい技術についての理解と練習方法	●		
						○思考・判断・表現 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。		○主体的に学習に取り組む態度 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどをしてしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	●
	5	6	陸上 体力測定	各種目を測定することにより、生徒自身が自己の体力を把握し、健康の保持・増進、体力向上への関心意欲を高めるために行う。 ○測定項目 ・立ち幅跳び・握力測定・長座体前屈・上体起こし、反復横跳び・50m走・ボール投げ・持久走	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。	行動観察 正しい技術についての理解と練習方法	●			
					○技能 短距離走では中間走の高いスピードを維持して速く走ることができる。長距離走では、ペースの変化に対応して走ることができる。立ち幅跳びでは力強い踏み切りから着地までの動きを滑らかにして跳ぶことができる。		単元実技テスト 記録の測定	●	●	●
					○思考・判断・表現 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	○主体的に学習に取り組む態度 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしてしたり、健康・安全を確保したりしている。		●	●	●
	6	8	球技 サッカー ※雨天時： フットサル	安定したボール操作などの基本的技能や仲間との連携した動きを身につけ、役割に適した行動を瞬時に判断し選択するとともに、局面で変わる攻防を展開するため基礎的な技術の習得と洞察力を養う。作戦や状況に応じて仲間と連携し、空間を作り出す動きを身につける。 ・シュート・パス・ドリブル・フェイント・基本的なルール	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。	行動観察 正しい技術についての理解と練習方法	●			
					○技能 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。		単元実技テスト 試合状況	●	●	●
					○思考・判断・表現 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	○主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしてしたり、健康・安全を確保したりしている。		●	●	●

7	6	球技 ソフトボール	ベースボール型球技では、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを深く味わい、状況に応じたボールやバットの操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開することができるようにする。 ・キャッチボール・バッティング練習を通して技能を高める。	○知識○技能 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。 ○思考・判断・表現 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話し合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	行動観察 正しい 技術についての理解と練習方法	●		
		単元実技テスト 試合状況	●	●	●			
		行動観察 整列・挨拶 準備・後片付け			●			
8	8	球技 テニス ※雨天時: 卓球 スポンジテニス	安定したボールや用具操作と連動・連携した動きによって、攻防を展開するための基本的な技術の習得を図る。 個人やペアの持っている能力に応じて作戦をたて、相手の空いているスペースに打ち返し、ゲームを展開できるようにする。 ・サーブ・フォアハンド、バックハンド・ボレー・スマッシュ・基本的なルール 役割に応じたボールや用具操作と連動・連携した動きによって、攻防を展開するための基本的な技術の習得を図る。 個人やペアの持っている能力に応じて作戦を立て、相手の空いているスペースに打ち返し、ゲームを展開できるようにする。	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ○思考・判断・表現 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話し合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	行動観察 正しい 技術についての理解と練習方法	●		
		単元実技テスト 試合状況	●	●	●			
		行動観察 整列・挨拶 準備・後片付け			●	●		
9	8	球技 バレーボール	役割に応じたボールや用具操作と連動・連携した動きによって、攻防を展開するための基本的な技術の習得を図る。 個人やチームメイトの持っている能力に応じて作戦を立て、相手の空いているスペースに打ち、ゲームを展開できるようにする。 ・サーブ(変化を伴うサーブ)・レシーブ・トス・スパイクの基本動作・フットワーク・基本的なルール	○知識 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ○思考・判断・表現 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話し合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	行動観察 正しい 技術についての理解と練習方法	●		
		単元実技テスト 試合状況	●	●	●			
		行動観察 整列・挨拶 準備・後片付け			●	●		

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
後期	10	8	バドミントン	ゲームなどを通して、その種目の楽しさを味わいながら個人やペアの課題を設定し、その解決に向けての練習を工夫する。個人やペアの持っている能力に応じて作戦を立て、持っている技能を最大限に活用してゲームを行う。役割に応じたラケット操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開する。 ・サービス・ドロップ・クリア・スマッシュ	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ○思考・判断・表現 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする こと、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	行動観察 正しい 技術についての理解と練習方法	●		
						単元実技テスト 試合状況	●	●	●
						行動観察 整列・挨拶 準備・後片付け		●	●
	11	6	バスケットボール	役割に応じたボール操作や、役割に適した行動を瞬時に判断し選択するとともに、局面で変わる攻防を展開するため基礎的な技術の習得と洞察力を養う。 種目の楽しさを味わいながら個人やチームの能力を把握し、よりスムーズなゲームを展開できるよう工夫する。 個人やチームの持っている能力に応じて作戦を立て、持っている技能を最大限に活用してゲームを行う。 ・基本的なルール・シュート・パス・ドリブル・フェイント	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 ○思考・判断・表現 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする こと、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	行動観察 正しい 技術についての理解と練習方法	●		
						単元実技テスト 試合状況	●	●	●
						行動観察 整列・挨拶 準備・後片付け		●	●
	12	8	器械運動 跳び箱	特性に応じて多くの「技」がある。これらの技に挑戦し、その技ができる楽しさや喜びを味わう。技がよりよくなるよう、学習に主体的に取り組む、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たすことなどに意欲をもち、健康や安全を確保するとともに、新たに挑戦する技の名称や行い方、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	○知識 技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などについて理解している。 ○技能 跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。 ○思考・判断・表現 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○主体的に学習に取り組む態度 器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を讃えようとする こと、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする ことなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	行動観察 正しい 技術についての理解と練習方法	●		
						単元実技テスト 記録会	●	●	●
						行動観察 整列・挨拶 準備・後片付け		●	●

			<p>体育理論</p> <p>(1)運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (2)豊かなスポーツライフの設計の仕方</p>	<p>○知識 (1)運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解している。 (2)豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解している。</p> <p>○思考・判断・表現 (1)運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 (2)豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>○主体的に学習に取り組む態度 (1)運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。 (2)豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>知識・確認テスト</p>	●		
	7				<p>レポート提出</p>	●	●	

2024 年度 保健体育科 シラバス・年間指導計画

科目名	保健			教科書	新高等保健体育 大修館書店
学年	2	単位数	1	必修	副教材

学習目標	<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>その資質・能力とは以下のことを指す。</p> <p>① 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにすること。</p> <p>② 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力のこと。</p> <p>③ 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うこと。</p>
学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業は各ホームルームで授業を行います ● グループワークを中心に行います。ただし、状況によって講義型や、ディベート型の授業展開も入ってきますので、教科書、ノートを忘れないでください。 ※場合によっては学年で行うこともあります。 ● 授業中には調べ学習やクラスルームへの課題配布、ジャムボードの使用などで Chromebook を用いて授業をすることがあります。必ず充電してきてください。 ● 単元ごとに小テストを細かく行っていく予定です。単元テストは一度きりではなく複数回行うこともありますので最後まであきらめずに取り組んでください。 ● 発表やレポートなどのアウトプット作業もあります。 ● 講演会などが入ってくる場合があります。貴重なお話を聞けることに感謝の意を表して参加しましょう。
評価の観点	<p>観点の趣旨や到達目標</p> <p>①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度</p>
	<p>① 生涯を通じる健康・健康を支える環境づくりについて、個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、内容に関わる技能を身につけている。</p>
	<p>② 生涯を通じる健康・健康を支える環境づくりについて、健康に関わる自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、適切な選択を判断、それらを他者に表現できるようにする。</p>
	<p>③ 生涯を通じる健康・健康を支える環境づくりについて、自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を身につけようとしている。</p>

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4 ~ 6	1	3. 生涯を通じる健康 (ア)生涯の各段階における健康	オリエンテーション	保健の学習内容および学習方法について				
				生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次のことを身につける。 (ア) 生涯を通じる健康について理解を深めること。特に生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた事故の健康管理及び環境づくりが関わっていることを学ぶ	①知識・技能 ⑦ 思春期と健康 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。 ① 結婚生活と健康 結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。 また、結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることを理解できるようにする ⑦ 加齢と健康 中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することを理解できるようにする。また、高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて理解できるようにする。	単元テスト レポート	●		●
				イ 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現すること身につける。 1. 思春期と健康 2. 性意識の変化と性行動の選択 3. 結婚生活と健康 4. 妊娠・出産と健康 5. 家族計画 6. 加齢と健康 7. 高齢者社会に対応した取り組み	②思考・判断・表現 生涯を通じる健康にかかわる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 ③主体的に学習に取り組む態度 生涯を通じる健康について、自身の生活にどう活かせるのかを考え、主体的に取り組もうとしている。	授業プリント レポート		●	
	1. 思春期と健康 2. 性意識の変化と性行動の選択 3. 結婚生活と健康 4. 妊娠・出産と健康 5. 家族計画 6. 加齢と健康 7. 高齢者社会に対応した取り組み	②思考・判断・表現 生涯を通じる健康にかかわる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 ③主体的に学習に取り組む態度 生涯を通じる健康について、自身の生活にどう活かせるのかを考え、主体的に取り組もうとしている。	行動観察			●			
7 ~ 8	4	3. 生涯を通じる健康 (イ)労働と健康	(イ) 労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する障害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを学ぶ。	①知識・技能 ⑦ 労働災害と健康 労働による障害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことを理解できるようにする。また、労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理が必要であることを理解できるようにする。 ① 働く人の健康の保持増進 働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことを理解できるようにする。 ②思考・判断・表現 生涯を通じる健康にかかわる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 ③主体的に学習に取り組む態度 生涯を通じる健康について、自身の生活にどう活かせるのかを考え、主体的に取り組もうとしている。	単元テスト	●		●	
			イ 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現すること身につける。 8. 働くことと健康 9. 労働災害の防止 10. 働く人の健康づくり	①働く人の健康の保持増進 働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことを理解できるようにする。 ②思考・判断・表現 生涯を通じる健康にかかわる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 ③主体的に学習に取り組む態度 生涯を通じる健康について、自身の生活にどう活かせるのかを考え、主体的に取り組もうとしている。	授業プリント レポート		●		
			8. 働くことと健康 9. 労働災害の防止 10. 働く人の健康づくり	③主体的に学習に取り組む態度 生涯を通じる健康について、自身の生活にどう活かせるのかを考え、主体的に取り組もうとしている。	行動観察		●		
		1	前期末試験(授業内)				●	●	
後期	9 ~ 10	6	4. 健康を支える環境づくり (ア)環境と健康	健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次のことを身につける。 (ア) 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあることを学ぶ。	①知識・技能 ⑦ 環境の汚染と健康 人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあることについて理解できるようにする。 ① 環境と健康に関わる対策 健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて理解できるようにする。 ⑦ 環境衛生に関わる活動 上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて理解できるようにする。 ②思考・判断・表現 健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 ③主体的に学習に取り組む態度 生涯を通じる健康について、自身の生活にどう活かせるのかを考え、主体的に取り組もうとしている。	単元テスト	●		●
				イ 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することを身につける。 1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁・土壌汚染と健康 3. 健康被害を防ぐための環境対策 4. 環境衛生にかかわる活動	②思考・判断・表現 健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 ③主体的に学習に取り組む態度 生涯を通じる健康について、自身の生活にどう活かせるのかを考え、主体的に取り組もうとしている。	授業プリント レポート		●	
				1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁・土壌汚染と健康 3. 健康被害を防ぐための環境対策 4. 環境衛生にかかわる活動	③主体的に学習に取り組む態度 生涯を通じる健康について、自身の生活にどう活かせるのかを考え、主体的に取り組もうとしている。	行動観察			●

11	3	<p>(イ) 食品と健康</p> <p>4. 健康を支える環境づくり</p> <p>(イ) 食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であることを学ぶ。</p> <p>イ 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することを身につける。</p> <p>5. 食品の安全性と健康</p> <p>6. 食品の安全性を確保する取り組み</p>	<p>①知識・技能</p> <p>⑦ 食品の安全性</p> <p>人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて理解できるようにする。</p> <p>① 食品衛生に関わる活動</p> <p>食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて理解できるようにする。</p> <p>②思考・判断・表現</p> <p>健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができるようにする。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>生涯に通じる健康について、自身の生活にどう活かせるのかを考え、主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>単元テスト</p> <p>●</p>		
				<p>授業プリント</p> <p>●</p>		
				<p>レポート</p> <p>●</p>		
		<p>行動観察</p> <p>●</p>				
11 ~ 12	4	<p>(ウ) 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関</p> <p>4. 健康を支える環境づくり</p> <p>(ウ) 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関</p> <p>イ 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することを身につける。</p> <p>7. 保健制度とその活用</p> <p>8. 医療制度とその活用</p> <p>9. 医薬品の制度とその活用</p>	<p>①知識・技能</p> <p>⑦ 我が国の保健・医療制度</p> <p>我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて理解できるようにする。</p> <p>① 地域の保健・医療機関の活用</p> <p>健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて理解できるようにする。</p> <p>⑦ 医薬品の制度とその活用</p> <p>医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて理解できるようにする。</p> <p>②思考・判断・表現</p> <p>健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができるようにする。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>生涯に通じる健康について、自身の生活にどう活かせるのかを考え、主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>単元テスト</p> <p>●</p>		
				<p>授業プリント</p> <p>●</p>		
				<p>レポート</p> <p>●</p>		
		<p>行動観察</p> <p>●</p>				
1 ~ 3	2	<p>対策</p> <p>(エ) 様々な保健活動や社会的</p> <p>4. 健康を支える環境づくり</p> <p>(エ) 様々な保健活動や社会的</p> <p>イ 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することを身につける。</p> <p>10. 様々な保健活動や対策</p>	<p>①知識・技能</p> <p>⑤ 様々な保健活動や社会的対策</p> <p>我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて理解できるようにする。</p> <p>②思考・判断・表現</p> <p>健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができるようにする。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>生涯に通じる健康について、自身の生活にどう活かせるのかを考え、主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>単元テスト</p> <p>●</p>		
				<p>授業プリント</p> <p>●</p>		
				<p>レポート</p> <p>●</p>		
		<p>行動観察</p> <p>●</p>				
1 ~ 3	2	<p>(オ) 健康に関する環境づくりと社会参加</p> <p>4. 健康を支える環境づくり</p> <p>(オ) 健康に関する環境づくりと社会参加</p> <p>イ 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することを身につける。</p> <p>11. 誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり</p>	<p>①知識・技能</p> <p>⑧ 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であることを学ぶ。</p> <p>②思考・判断・表現</p> <p>健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができるようにする。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>生涯に通じる健康について、自身の生活にどう活かせるのかを考え、主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>単元テスト</p> <p>●</p>		
				<p>授業プリント</p> <p>●</p>		
				<p>レポート</p> <p>●</p>		
		<p>行動観察</p> <p>●</p>				
3	1	学年末考査		●	●	●

2024 年度 英語科 シラバス・年間指導計画

科目名	英語コミュニケーションⅡ			教科書	『Big Dipper』 数研出版
学年	2	単位数	4	必修	副教材

学習目標	<p>「英語コミュニケーションⅠ」の学習を踏まえ、五つの領域別の言語活動及び複数の領域を効果的に関連付けた統合的な言語活動を通して、五つの領域の総合的な指導を発展的にいき、より自律した英語学習者の育成を目指します。これまでの「多くの支援」を活用する段階から、必要に応じて「一定の支援」を活用する段階へと移行します。目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにするとともに、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養います。また、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、多様な価値観や文化を理解し、共生するための資質・能力の育成を目標とします。</p>
学習の進め方	<p>授業の内容は、「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能を使って、英語で情報を受け、発することを主眼に置く。教科書の各レッスンでは、コミュニケーションを支える文法・語法を学ぶと同時に、本文を読んだり、聞いたりして、書き手又は話し手の意向などの理解を深める。本文の内容の応用としてさまざまなコミュニケーション活動を通して、英語を発信することの面白さを味わい、積極的に英語を話そうとする態度を身につけていくことを目指す。</p> <p>週4回ある授業を、日本人教諭とALTとの授業(週3回)では、教科書を中心に活用して授業を行う。週1回、学年合同で、実用英語技能検定やGTECなどの外部試験の演習を行う。</p>
評価の観点	<p>観点の趣旨や到達目標</p> <p>①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度</p>
	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「英語の特徴やきまりに関する事項」を理解している状況进行评估する。 ● 話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている状況进行评估する。 ● 情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり伝え合ったりするために必要な技能を身に付けている状況进行评估する。
	<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 必要な情報を読み取り、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点などを目的に応じて捉えている状況进行评估する。 ● 情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして表現したり伝え合ったりしている状況进行评估する。
	<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている状況进行评估する。 ● 話されたり書かれたりする文章を聞いたり読んだりして、必要な情報を聞き取ったり読み取ったり、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点などを目的に応じて捉えようとしている状況进行评估する。 ● 情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして表現したり伝え合ったりしようとしている状況进行评估する。 ● 自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしているかを評価する。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価			
							①	②	③	
前期	4	10	1	オリエンテーション						
			LESSON 1 Why Don't You Come to School in Pajamas?	各 Part の本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 本文の内容(パジャマデーのような海外のユニークな学校行事など)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話すことができる。	①側注・脚注の語彙や、Hints for Understanding の言語材料(文法)を理解している。 ②パジャマデーのような海外のユニークな学校行事などについて理解を深めるために、各 Part 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ③コミュニケーションに関心をもち、自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●			
		5	LESSON 2 Is Seeing Believing?	各 Part の本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 本文の内容(歌川国芳やエッシャーのだまし絵、大阪府豊中市の取り組みなど)について、学習した語句や文法事項を用いて、より内容を深めるための質問をすることができる。	①側注・脚注の語彙や、Hints for Understanding の言語材料(文法)を理解している。 ②歌川国芳やエッシャーのだまし絵、大阪府豊中市の取り組みなどについて理解を深めるために、各 Part 本文の内容を読み取り、より内容を深めるための質問をすることができる。 ③コミュニケーションに関心をもち、自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●			
	5	12					単元テスト ALTと内容に関する質疑応答テスト	○	●	●
							単元テスト ALTに対して内容に関する質問をするテスト	●	○	○
	5	4		GTEC 演習	GTEC の過去問題などを使い演習形式で問題を解いていく。	①GTEC の演習を通して、語彙や文法の知識を理解している。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●		○
			6	前期中間考査は実施しません						
	6	6	6	LESSON 3 Do You Get Enough Sleep?	各 Part の本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 本文の内容(睡眠の重要性や睡眠関連商品など)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。	①側注・脚注の語彙や、Hints for Understanding の言語材料(文法)を理解している。 ②睡眠の重要性や睡眠関連商品などについて理解を深めるために、各 Part 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ③コミュニケーションに関心をもち、自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●		
							単元テスト ALTと内容に関するディスカッション	○	●	○
	前期中間評価									
7	6	6	LESSON 4 Do You Want to Speak English like a Native Speaker?	各 Part の本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 各 Part の本文の内容を理解し、正しい発音で音読できる。	①側注・脚注の語彙や、Hints for Understanding の言語材料(文法)を理解している。 ①本文の内容を理解した上で、正しい発音で相手に伝わるように音読することができる。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●			
						単元テスト 発音音読テスト	●		○	
8	10	10	LESSON 5 Universal Design: Convenient for All	各 Part の本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 本文の内容(ユニバーサルデザインの照明スイッチやピクトグラムなど)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。	①側注・脚注の語彙や、Hints for Understanding の言語材料(文法)を理解している。 ②ユニバーサルデザインの照明スイッチやピクトグラムなどについて理解を深めるために、各 Part 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ③コミュニケーションに関心をもち、自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●			
						単元テスト ALTに自分でリサーチした内容を説明	○	●	○	
	4	4		GTEC 演習	GTEC の過去問題などを使い演習形式で問題を解いていく。	①GTEC の演習を通して、語彙や文法の知識を理解している。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●		○
			9	1	前期末考査					●

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
後期	9	6	LESSON 6 Wakamiya Masako: The World' s Oldest Game App Developer	各 Part の本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。	①側注・脚注の語彙や、Hints for Understanding の言語材料(文法)を理解している。 ①若宮正子さんの活動などについて理解を深めるために、各 Part 本文の内容を読み取る。 ③コミュニケーションに関心をもち、自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●		
						課題の提出	●		○
		10	10	LESSON 7 Learning from Nature	各 Part の本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 本文の内容(生物をヒントにして開発された電化製品や飛行機など)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。	①側注・脚注の語彙や、Hints for Understanding の言語材料(文法)を理解している。 ②生物をヒントにして開発された電化製品や飛行機などについて理解を深めるために、各 Part 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ③コミュニケーションに関心をもち、自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●	
	単元テスト ALT に自分でリサーチした内容を説明						○	●	○
	11	10	LESSON 8 The Wisdom of Preserving Food	各 Part の本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 各 Part の本文の内容を理解し、正しい発音で音読できる。	①側注・脚注の語彙や、Hints for Understanding の言語材料(文法)を理解している。 ①本文の内容を理解した上で、正しい発音で相手に伝わるように音読することができる。 ③コミュニケーションに関心をもち、自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●		
						単元テスト 発音音読テスト	●		○
	12	4	GTEC 演習	GTEC の過去問題などを使い演習形式で問題を解いていく。	①GTEC の演習を通して、語彙や文法の知識を理解している。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●		○
						後期中間考査は実施しません			
	1	10	LESSON 9 The Sharing Economy: Something for everyone?	各 Part の本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 本文の内容(シェアリングエコノミー)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。	①側注・脚注の語彙や、Hints for Understanding の言語材料(文法)を理解している。 ②シェアリングエコノミーについて理解を深めるために、各 Part 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ③コミュニケーションに関心をもち、自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●		
						単元テスト ALT と内容に関する質疑応答テスト	○	●	○
						単元テスト ALT に自分でリサーチした内容を説明	○	●	○
	後期中間評価								
2	10	LESSON 10 Sand and Concrete: A Basis of Our Life	各 Part の本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 本文の内容(コンクリートの歴史や、世界の砂不足など)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。	①側注・脚注の語彙や、Hints for Understanding の言語材料(文法)を理解している。 ②コンクリートの歴史や、世界の砂不足などについて理解を深めるために、各 Part 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ③コミュニケーションに関心をもち、自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●			
					単元テスト ALT と内容に関する質疑応答テスト	○	●	○	
3	1	学年末			単語や文法の理解と定着を図る小テスト	●		○	
						●	●		

2024年度 英語科 シラバス・年間指導計画

科目名	論理・表現 II			教科書	『 EARTHRISE English Logic and Expression II Standard』 数研出版
学年	2	単位数	2	必修	副教材 チャート式シリーズ EARTHRISE アースライズ総合英語

学習目標	特に、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、複数の段落から成る文章を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして詳しく伝える又は伝え合うことなどができるようになることを目標としている。身近な話題を題材に、論理構成を工夫し、さまざまな立場から意見を展開することで、細部まで適切に伝えることを学ぶ。				
学習の進め方	<p>まず、教科書に掲載されている単語やフレーズなどの表現を使いながら、さまざまなテーマについて、自分の意見や主張などにおける複数の論点を説明したり、理由や根拠の妥当性を示す具体例を挙げて詳しく説明したりすることなど、複雑な内容をより分かりやすく論理的に書く練習をします。</p> <p>次に、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>最終的には、ディスカッションやディベートを通して、課題を明確に説明し、その解決策を提案し合うことを目指します。</p> <p>そのためには、ネイティブ教員との積極的なコミュニケーションや、論理的思考力・表現力を高めるための ICT の活用が必要です。これらの活動を通して、CEFR のレベルを上げていきます。</p>				
評価の観点	観点の趣旨や到達目標				
	①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度				
	①	<ul style="list-style-type: none"> ●各文法事項の用法を理解し、適切に使うことができ、スピーチやプレゼンテーション、ディスカッションをする技能を身に付けているかを評価する。 ●各文法事項の用法を理解し、様々な状況での文章を書く技能を身に付けているかを評価する。 ●各論題について、必要な背景知識・語彙・表現を用いて自分の考えを述べる技能を身に付けているかを評価する。 			
	②	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けているかを評価する。 			
③	<ul style="list-style-type: none"> ●外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けているかを評価する。 ●自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしているかを評価する。 				

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価			
							①	②	③	
前期	4	1	オリエンテーション							
		4	Lesson 1 How interesting Japanese culture is!	「文化」をテーマに、動詞の現在形・過去形・完了形・未来を表す表現を用いて、話したり書いたりして伝える。 ■プレゼンテーションテーマ■ Manga and anime help people around the world to understand Japanese culture.	①Key Expressionsの言語材料(文法)を理解している。 ②「マンガとアニメは世界中の人が日本文化を理解するのに役立つ」という論題について、自分の考えを理由とともに伝える。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動と課題提出	○			
	5	1	副教材 EARTHRISE アースライズ総合英語	英語の聞き取り演習 英文の音読練習 英作文演習	①の言語材料(文法)を使うことができる。	授業中の活動と課題提出	●			
		4	Lesson 2 Wonderful places to visit in Japan.	「観光」をテーマに、助動詞 can, should, would, have to, must, should have+過去分詞を用いて、話したり書いたりして伝える。 ■ディスカッションテーマ■ It is better to travel by yourself than to go on guided tours.	①Key Expressionsの言語材料(文法)を理解している。 ②「ガイド付きツアーに参加するよりも、ひとり旅をするほうがよい」という論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしている。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動と課題提出	●			
						単元テスト ディスカッション	○	●	○	
		1	副教材 EARTHRISE アースライズ総合英語	英語の聞き取り演習 英文の音読練習 英作文演習	①の言語材料(文法)を使うことができる。	授業中の活動と課題提出	●			
	6	前期中間考査は実施しません								
		4	Lesson 3 Precious water for all.	「水資源」をテーマに、受動態の表現を用いて、話したり書いたりして伝える。 ■プレゼンテーションテーマ■ Water should be provided to everyone free of charge	①Key Expressionsの言語材料(文法)を理解している。 ②「水は無料ですべての人に提供されるべきだ」という論題について、自分の考えを理由とともに伝える。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動と課題提出	●			
						単元テスト グループ プレゼンテーション	○	●	○	
		1	副教材 EARTHRISE アースライズ総合英語	英語の聞き取り演習 英文の音読練習 英作文演習	①の言語材料(文法)を使うことができる。	授業中の活動と課題提出	●			
	7	前期中間評価								
		3	Lesson 4 What has happened recently?	「ニュース・情報」をテーマに、不定詞・動名詞を用いて、話したり書いたりして伝える。 ■ライティングテーマ■ High school students should read newspapers everyday	①Key Expressionsの言語材料(文法)を理解している。 ②「高校生は世界で何が起きているかを知るために、新聞を毎日読むべきだ」という論題について、自分の考えを理由とともに伝える。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動と課題提出	●			
						単元テスト ライティング	○	●	○	
	8	1	副教材 EARTHRISE アースライズ総合英語	英語の聞き取り演習 英文の音読練習 英作文演習	①の言語材料(文法)を使うことができる。	授業中の活動と課題提出	●			
		3	Lesson 5 I am into music and movies!	「映画・音楽」をテーマに、分詞を用いて、話したり書いたりして伝える。 ■ディベートテーマ■ It's better to watch movies at home than in movie theaters.	①Key Expressionsの言語材料(文法)を理解している。 ②「映画は、映画館で見るより家で見るほうがよい」という論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしている。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動と課題提出	●			
						単元テスト ディベート	○	●	○	
9	1	副教材 EARTHRISE アースライズ総合英語	英語の聞き取り演習 英文の音読練習 英作文演習	①の言語材料(文法)を使うことができる。	授業中の活動と課題提出	●				
	3	Lesson 6 Where do you usually buy clothes?	「ファッション」をテーマに、関係詞を用いて、話したり書いたりして伝える。 ■プレゼンテーションテーマ■ In the future, more people will buy clothes online.	①Key Expressionsの言語材料(文法)を理解している。 ②「将来、より多くの人がオンラインで服を買うだろう」という論題について、自分の考えを理由とともに伝える。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動と課題提出	●				
					単元テスト プレゼンテーション	○	●	○		
		1	副教材 EARTHRISE アースライズ総合英語	英語の聞き取り演習 英文の音読練習 英作文演習	①の言語材料(文法)を使うことができる。	授業中の活動と課題提出	●			

		1	前期期末考査				●	●	
		3	Lesson 7 What kind of books do you like best? ■ディスカッションテーマ■ Where is the best place to study?	「本」をテーマに、比較の表現を用いて、話したり書いたりして伝える ■ディスカッションテーマ■ Where is the best place to study?	①Key Expressionsの言語材料(文法)を理解している。 ②「勉強をするためのベストな場所はどこか」という論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしている。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動と課題提出 単元テスト ディスカッション	●		○
前期期末評価									

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価			
							①	②	③	
後期	10	3	Lesson 8 Inventions that changed the way we live!	「発明・便利なもの」をテーマに、仮定法の表現を用いて、話したり書いたりして伝える。 ■ディスカッションテーマ■ If you could use your smartphone to control one household item.	①Key Expressionsの言語材料(文法)を理解している。 ②「もしスマートフォンをある1つの家庭用品をコントロールするために使うことができるならば、その家庭用品は何か」という論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしている。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動と課題提出 単元テスト ディスカッション	●		○	
			11	1	副教材 EARTHRISE アースライズ総合英語	英語の聞き取り演習 英文の音読練習 英作文演習	① の言語材料(文法)を使うことができる。	授業中の活動と課題提出	●	
	12	2	Part 2 Lesson 1 Can you come to our party?	「パーティー」をテーマに、「感謝する/謝罪する」表現を用いて、話したり書いたりして伝える。 ■ライティングテーマ■ You should have as many friends as possible.	①Functional Expressionsの言語材料(文法)を理解している。 ②「あなたはできるだけ多くの友達をもととすべきだ」という意見に対し、理由とともに賛成・反対の立場の意見を述べる。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動と課題提出 単元テスト ライティング	●		○	
			Part 2 Lesson 2 I am sure you can make it!	「コンテスト・発表」をテーマに、「心配を述べる/励ます/感想を述べる」表現を用いて、話したり書いたりして伝える。 ■プレゼンテーションテーマ■ Choose a traditional Japanese cultural activity that you could explain to people from abroad.	①Functional Expressionsの言語材料(文法)を理解している。 ②「あなたが海外から来た人に説明することができる伝統的な日本の文化的活動を選びなさい」というテーマに関し、自分の考えを論理的に述べる。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動と課題提出 単元テスト プレゼンテーション	●		○	
	1	2	Part 2 Lesson 3 How about trying this food?	「食べ物・食事」をテーマに、「提案する/勧誘する/好みを述べる」表現を用いて、話したり書いたりして伝える。 ■ライティングテーマ■ What can we do to decrease food waste?	①Functional Expressionsの言語材料(文法)を理解している。 ②「食品廃棄を減らすために私たちに何ができるか」というテーマに関し、自分の意見を理由とともに述べる。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動と課題提出 単元テスト ライティング	●		○	
			2	後期中間考査は実施しません						
	後期中間評価									
	3	2	2	Part 2 Lesson 4 Tips for staying healthy	「健康」をテーマに、「助言する/忠告する」表現を用いて、話したり書いたりして伝える。 ■ディスカッションテーマ■ People should have to pay for ambulance services.	①Functional Expressionsの言語材料(文法)を理解している。 ②「救急車の利用にお金を払うべきだ」という意見に対し、理由とともに賛成・反対の立場の意見を述べる。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動と課題提出 単元テスト ディスカッション	●		○
				3						

				うとしている。				
2	Part 2 Lesson 5 I'm taking part in some volunteer activities tomorrow	「ボランティア」をテーマに、「依頼する」表現を用いて、話したり書いたりして伝える。 ■ライティングテーマ■ Schools should promote volunteer work among students.	①Functional Expressionsの言語材料(文法)を理解している。 ②「学校は生徒にボランティア活動をするように促すべきだ」という意見に対し、理由とともに賛成・反対の立場の意見を述べる。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動と課題提出	●			
2	Part 2 Lesson 6 Where would you like to live in the future?	「暮らす場所」をテーマに、「賛成する/反対する」表現を用いて、話したり書いたりして伝える。 ■ディスカッションテーマ■ Children should be raised in the countryside.	①Functional Expressionsの言語材料(文法)を理解している。 ②「将来、日本を出て海外に住むべきだ」という意見に対して自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしている。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動と課題提出	●			
2	Part 2 Lesson 7 Which candidate is the right person?	「選挙」をテーマに、「意見を求める/述べる」表現を用いて、話したり書いたりして伝える。 ■ライティングテーマ■ Japan was right to lower the age of majority to 18.	①Functional Expressionsの言語材料(文法)を理解している。 ②「日本が成人年齢を18歳に引き下げたことは正しかった」という意見に対し、理由とともに賛成・反対の立場の意見を述べる。 ③自らの学習進捗や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている。	授業中の活動と課題提出	●			
1	後期期末考査					●	●	
学年末評価								

2024 年度 家庭科 シラバス・年間指導計画

科目名	家庭基礎			教科書	『未来へつなぐ家庭基礎 365』教育図書
学年	2	単位数	2	必修	副教材 『未来へつなぐ家庭基礎 365 マスターノート』教育図書

学習目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>
学習の進め方	<p>家庭基礎 365 マスターノートを中心に授業を進めます。授業時間は書き込みながら授業を進めますので、必ず持参してください。</p> <p>授業は講義と共にマスターノートで内容をまとめ、STEP UP 部分で自分の生活と照らし合わせて主体的な取り組み方を考察し、実践的な態度を身につけましょう。</p> <p>毎日の生活を振り返り、問題点を見つけて改善することで、生活を豊かにし自立した生活を送るための準備をしましょう。</p>
評価の観点	<p>観点の趣旨や到達目標</p> <p>①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度</p>
	<p>①</p> <p>・人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣生活、生活設計などに関する知識や技術を総合的に身に付けている。</p>
	<p>②</p> <p>・人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣生活、生活設計などについて生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。</p>
	<p>③</p> <p>・人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住、生活設計などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。</p>

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価基準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	7	オリエンテーション						
	5		A編 第1章 生涯の生活設計I	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちはライフステージにおける青年期にいることに気づく。 各ライフステージの特徴と課題を理解する。 私たちは生涯発達し続ける存在であることを理解する。 これから起こる人生のライフイベントを想定し、目標をたて、そのための意思決定について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生涯発達の視点から各ステージの特徴・課題とそれに対応した意思決定の必要性について理解している。 ②これからの自分の人生について想像し、まとめたり発表したりすることができる。 ③生涯発達の視点で各ライフステージの発達課題に関心をもち、学習活動に取り組もうとしている。 ・人生の目標達成のために必要なことや考えられるリスクについて自ら調べようとしている。 	マスターノート確認	●	●	●

6	7	<p>A編 第2章 青年期の自立と家族・家庭</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期とはどのような時期なのかを知り、青年期に必要な自立について考える。 ・家庭生活を支える職業労働と家事労働の特徴を理解する。 ・日本の雇用環境を考え、将来を見通した職業観を身につける。 ・自分や他者の性を尊重することの大切さを理解する。 ・社会の変化に伴う家族・家庭の変化について理解する。 ・家族・家庭とは何かを、様々な観点から考えて自分なりの価値観を築く。 ・家庭生活を支える基本的な法律について理解する。 ・男女共同参画社会について知り、実現のためにできることについて自分なりに考える。 ・18歳で大人になるという自覚を持つ。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年期の5つの自立について理解している。 ・現代の家族の特徴について、家族機能の変化や人々の意識の変化などから理解している。 ・家族・家庭に関わる法律や福祉について理解している。 ・生活に関わる法律の基本的な趣旨、生活を支える社会制度について理解している。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯発達の視点から、青年期をどのように過ごすかについて、具体的に考え、意見をまとめたり、発表したりすることができる。 ・具体的な事例や事象を通して、これからの家族・家庭のあり方について考え、まとめたり、発表したりできる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭と社会との関わりに関心をもち、男女が協力して家庭を築くという視点から学習活動に取り組もうとしている。 ・青年期に必要な自立のために生活や考え方を考えようとしている。 ・青年期の課題や家族・家庭についての学習を自分の問題として捉えようとしている。 	<p>マスターノート確認</p>	●	●	●
6	8	<p>A編 第3章 子どもの生活と保育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を知り、子どもにとって良い環境について考えて自分なりの意見をもつ。 ・乳幼児期が人の一生において重要な時期であることを理解する。 ・親の役割や愛着の大切さ、生命の尊さ、子どもを生み育てることの意義を学ぶ。 ・子どもの生活習慣・食事・健康と安全の重要性を理解する。 ・子どもとの適切なかわり方について工夫する。 ・現代の子どもを取り巻く環境の問題について理解する。 ・社会全体で子育てを支援し、子育ての環境整備を行うことの重要性を理解する。 ・子どもの権利や福祉について理解する。 ・自分たちがこれから子どもを育てる世代になることを実感する。 ・育児休業について、他国と比較して考えを深める。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義や文化について理解している。 ・子どもの生活の概要を理解している。 ・生命の尊さを認識するとともに保育における親やおとなとの役割を理解している。 ・子どもは生活の中で人と関わることを通して成長することを理解している。 ・子どもを取り巻く環境整備と社会全体で子育てを支援する必要性を理解している。 ・子どもの権利と福祉について理解している。 ・少子化、育児不安、児童虐待、子どもの貧困など、現代の子どもを取り巻く環境の変化と課題について考える。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心身の発達、遊びの意義を捉え、子どもにとって良い環境について考えたり、発表したりすることができる。 ・親の役割や子どもを産み育てることの意義について考え、まとめたり、発表したりすることができる。 ・子ども発達段階とそれに応じた関わり方について判断することができる。 ・現代の子どもを取り巻く環境の変化や課題についてまとめることができる。 ・家族・家庭に関する関係法規について調べたりまとめたりすることができる。 ・子どもの生活や遊びについてま 	<p>マスターノート確認</p>	●	●	●

				とめることができる。				
				<ul style="list-style-type: none"> ③ ・保育における親や社会の果たす役割について考え、保育の重要性を理解し、積極的に関わろうとする姿勢がある。 ・子どもの権利と福祉について、社会環境の変化や課題を理解した上で考えようという。 ・自分が将来、保育に関わる存在であることを理解し、自分ごととして学習に取り組んでいる。 				
7	6	A 編 第4章 高齢期の生活と福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・人生の一時期として高齢期を捉え、自分の将来像としての高齢期について考える。 ・高齢期の心身の特徴を知り、高齢期に多い疾病について理解する。 ・高齢者の生活や、社会的な支援のあり方について考える。 ・介助について具体的な方法を理解する。 ・わが国の高齢化の特徴を知り、高齢者福祉の現状と課題について理解する。 ・高齢者を支える基本的な制度やしきみについて理解する。 ・高齢者を支える地域の役割について考える。 ・社会保障制度のしくみや他の国の現状を知り、自分なりに考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ① ・高齢者の心身の特徴について理解している。 ・わが国の高齢化の特的特徴を知り、高齢者福祉の現状と課題について理解している。 ・高齢者の生活を支える制度や地域社会のしくみについて理解している。 ・食事や着脱衣、移動など高齢者の心身の状況に応じて適切に関わることができる。 ・認知症の特徴や対応方法を理解している。 ・日常的な介助技術の基本と実践する際の心構えを身に付けている。 ② ・高齢化が進む現状や高齢者を取り巻く社会について知り、その課題と改善について調査したり発表したりすることができる。 ・祖父母や身近な高齢者から生きがいや社会参加、健康問題などの現状を聞き取り発表することができる。 ・認知症について、具体的な症状や事例、具体的な支援方法を調べ発表することができる。 ・高齢者の自立した生活を支えるために、家族・地域社会の役割を具体的に考察することができる。 ③ ・高齢者に対する福祉の現状を理解し、高齢期の生活を支えるしくみについて考えようとしている。 ・祖父母との関わりや、ボランティア活動への参加など、高齢者とふれあう意欲と姿勢がある。 ・高齢者の自立と尊厳について工夫しようとしている。 ・未来の自分の生活としてらえ、意欲的に取り組もうとしている。 	マスターノート確認	●	●	●
8								
9	3	A 編 第5章 共生社会と福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・共生社会の重要性について理解する。 ・自助・互助・共助・公助について理解する、 ・社会保障制度や公的年金制度について理解する。 ・共生社会の実現のために、社会の一員として何ができるかを考え、工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① ・自助・互助・共助・公助について理解している。 ・共生社会の重要性を知り、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインなどの理念を理解している。 ・社会保障制度や公的年金制度について理解している。 ・高齢者や障害のある人など多様な人々が共に支えあって生きることの意義を理解している。 	マスターノート確認	●	●	●

				<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共生社会とは何か、考えたり、まとめたりすることができる。 ・共生社会の重要性を考え、その実現のための課題について具体的に考え、まとめることができる。 ・高齢者や障害のある人の立場に立って、さまざまな問題点について自分意見を言うことができる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会の一員として、個人や集団がどのようにつながり、支えあっているか、考えようとしている。 ・さまざまな立場の人や自分と異なる価値観の人に対しても理解しようとしている。 ・共生社会実現のために、自分に何ができるかを考えようとしている。 					
		前期期末考査					●	●	●
後期	10	B編 第1章 食生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・食事と健康とのかかわりや、人の一生における食事の役割について理解する。 ・日常用いられる食品に含まれる栄養素の種類や機能、おこな食品の特徴について理解する。 ・安全や健康の観点から、食品を適切に選択したり保存したりする方法について理解する。 ・食事摂取基準について理解し、各栄養素の必要量についてのイメージを身につける。 ・私たちの体にとっての水の大切さを理解する。 ・年齢、性別、宗教など様々な背景や考え、相手に配慮した献立について考えることができる。 ・調理の基本的な技術を身につけ、安全や衛生面に配慮した調理ができるようになる。 ・料理の盛り付けや配膳、食事のマナーの基本を理解する。 ・食品ロスなど具体的な問題点から、現代の食生活の問題や課題について考える。 ・日本の食文化を理解し、私たちが食生活の伝統を引き継ぎ、新しく創造する主体であることを認識する。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食と健康の関わりについて知り、食事の大切さを理解している。 ・各ライフステージごとの食生活の課題と改善策について理解している。 ・栄養素の特徴と、それを多く含む食品について理解している。 ・日常食の調理について、栄養バランスの良い献立作成、食材の選択、安全、調理、盛り付け、マナー、配膳などについて総合的に理解している。 ・料理の作り方を理解し、基本的な技術を身につけ、効率よく調理することができる。 ・食文化の伝承を考慮した献立や調理計画を立てることができる。 ・資源、エネルギーに配慮した食品の購入、調理、保存ができる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身の食生活を分析し、現代の食生活の傾向と課題と比較して、まとめたり発表したりすることができる。 ・自身の食生活について、人と比較して意見を言うことができる。 ・調理実習を通して、食の安全や栄養素について、考えをまとめたり、発表したりすることができる。 ・栄養素の性質や食品の調理性などについて他教科の知識を活用して科学的に考えている。 ・調理の安全や衛生について具体的に考えている。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養素や食品の知識を生かして、自分や家族の食生活を改善しようとしている。 ・食生活の多様性や食環境の変化について知り、食生活と環境について科学的に考えようとしている。 ・現代の食生活における課題について目を向けている。 ・食生活の文化と背景について理解し、自分が将来の担い手で 	マスターノート確認	●	●	●	
	11								

				あるという意識を持ち新しい文化の創造についても工夫できる。				
12	5	B編 第2章 衣生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> 人間の生活と衣服のかかわり,衣服のおもな機能について理解し,生活に生かすことができる。 自分自身の衣生活の分析を通して,衣服や日常の衣生活に関心をもつことができるようになる。 ライフステージの各場面に適した衣服,衣服計画の重要性について理解する。 衣服の素材(繊維,糸,布)の種類や特徴について理解する。 衣服素材の性能・着心地や構成について理解する。 購入,活用,手入れ,再利用や廃棄まで考えて,衣服計画をたてることができる。 衣服の表示について理解し,日常生活の中での活用について考える。 衣服の手入れ,管理の必要性やその方法について,科学的に理解する。 基本的な衣服製作の技術を身につける。 私たちの衣生活が環境に与える影響を考え,持続可能な衣生活について考える。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣服の機能について理解している。 衣服が健康に与える影響を理解している ライフステージや目的に応じた衣服について理解している。 資源の有効利用の観点から,購入,活用,手入れ,再利用,廃棄までの衣服計画の必要性について理解している。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣生活に関する学習を通して,自身の着装について考え,まとめたり,発表したりすることができる。 自身の衣生活について,人と比較して意見を言うことができる。 衣服の原料から廃棄までの流れを調べまとめることができる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の衣生活の分析を通して,衣服に関心を持ち,現代の衣生活に関心を持つようとしている。 衣服で個性を表現しようとしている。 被服材料に応じた被服の整理や管理について考えようとしている。 	マスターノート確認	●	●	●
1	6	B編 第3章 住生活と住環境	<ul style="list-style-type: none"> 人と住まいとのかかわりや,住まいの機能について理解する。 地震などの災害に備えたり,家庭内事故の要因を理解したりするなど,安全な住居についての基礎知識を身につける。 安全で快適な住生活のための対策を具体的に考え,工夫する。 家族のライフステージや状況に合わせた,適切な住まいについて理解する。 住居の平面図を読み取ることができるようになる。 私たちの暮らしが地域とつながっていることを知り,まちづくりに参加する重要性を理解する。 日本の住宅事情や課題を理解し,持続可能な住まい方の工夫について考える。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅の役割,住空間の計画,住環境の整備について科学的に理解している。 安全で快適な住生活を送るための知識を身に付け,環境にも配慮した生活について理解している。 地域社会とのつながり,暮らすことの重要性について理解している。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 各ライフステージに応じた住居について考え,まとめたり発表したりできる。 気候や風土に応じた住居の特徴や変遷について考え,まとめることができる。 住居のバリアフリーやユニバーサルデザインについてまとめたり発表したりすることができる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> 住居の安全性や防災の知識を家庭生活に生かそうとし 将来の住まい方について考えようとしている。 住居の持続可能性について自分のこととして考えようとしている。 	マスターノート確認	●	●	●
	3	C編 第1章 生活における経済の計画	<ul style="list-style-type: none"> 家計のしくみについて理解し,家計は社会と密接にかかわっていることを知る。 収入と支出のバランスについて理解する。 金融商品の特徴を理解し,将来の財産管理について 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 家計と経済社会の関わりを理解している。 家計における収入と支出について理解している。 キャッシュレス社会が家計に与える利便性と問題点について理 	マスターノート確認	●	●	●

2		<p>考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯を見通した経済計画の重要性について理解する。 	<p>解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯を見通した経済計画について必要な情報の収入や整理ができる。 家計管理について具体的な事例を見通して、シミュレーションすることができる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ライフステージごと経済計画の課題を調べたり発表したりすることができる。 将来必要になる費用や資産形成について考えたり、発表したりすることができる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯を見通した家計の管理や計画、リスクの管理について考えようとしている。 					
	4	<p>C編 第2章 消費生活と意思決定</p>	<ul style="list-style-type: none"> 消費行動への意思決定には様々な要因があることを理解し、自分の消費行動について客観的に考える。 生活情報を活用するために必要なりテラシーを身につける。 一人で契約する時の注意点や心構えについて理解する。 18歳で「大人」となるという自覚をもち、大人と未成年の違いについて理解する。 様々な決済方法について知り、それぞれのメリット・デメリットや自分に合った利用方法について考える。 消費者トラブルと、消費者保護のしくみについて理解する。 消費者の権利と責任について理解する。 消費者市民社会の実現に向けて、自立した消費者としてどのように行動したらよいかを考える。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費行動における意思決定の過程とその要因について理解している。 消費者保護のしくみや、消費者問題の原因と被害に遭わないための対策について理解している。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ひとつの情報を鵜呑みにするのではなく、情報を正しく活用できるようにする。 消費者の責任について考え今後の課題と解決方法について発表することができる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費者問題について自分ごととして捉えて対策を考えようとしている。 	マスターノート確認	●	●	●
3	5	<p>C編 第3章 持続可能なライフスタイルと環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題について基本的な内容を理解する。 持続可能な社会を実現するための社会の取り組みについて理解する。 自分の消費行動が社会に与える影響について理解し、持続可能な社会のためにどう行動したらよいか考える。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境問題についての基礎的な知識を身に付けている。 環境問題に対する社会の取り組みを理解している。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分らしいライフスタイルの実現を目指して、生活設計を立てたり、発表したりできる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> 自身の考える生活設計の実現のために必要な情報を収集・整理しようとしている。 	マスターノート確認	●	●	●
		後期期末考査			●	●	●	

2024 年度 宗教科 シラバス・年間指導計画

科目名	聖書			教科書	なし
学年	2	単位数	1	必修	副教材 新約聖書(日本国際ギデオン協会)

学習目標	キリストの教えを学び、キリスト者の著作を手がかりに自分と他者を考察する過程を通じて、より良い生き方を主体的に模索する態度を養う。
学習の進め方	<p>1年生では、「キリストの生涯」と向き合いました。2年生では、キリスト教の中心的な教えを確認し、「いのち」について考え、その「いのち」をどのように使っていくのか(自分の在り方と他者との関わり)について考察を深めます。</p> <p>テストは前期授業内の1回で、その後はワークショップが中心となります。ワークショップの際に提出を求める振り返りシートや作文が評価の対象となります。</p> <p>※なお、年間計画は一部変更される場合があります。</p>
評価の観点	<p>観点の趣旨や到達目標</p> <p>①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度</p>
	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教についての基礎的基本的な内容及びキリスト者の著作の要点について理解している。 ・諸資料からキリスト教の教えに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
	<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリスト者の著作から、「いのち」についての考察を深めるとともに、これまでの自分の生き方や他者との関わり方についてふりかえり、課題を発見したり、まとめた考えや思いなどを分かりやすく伝えたりすることができる。
	<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 ・よりよい生き方の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養されるカトリック校の生徒としてあり方を自覚し、他者に対して適切な配慮をする姿勢が深まっている。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	1	海星学院とキリスト教	建学の精神について	①創立に関わった人々の思いを理解している。 ②創立に関わった人々の想いを知り、第1学年の過ごし方を振り返り、第2学年の過ごし方を考察している。 ③より良い学校生活の在り方に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	ポートフォリオ			●
						6月のテスト	●	●	
	5	3	マリア祭	祈りについて マリア祭の共同祈願 宗教行事「マリア祭」	①祈りによって変わるものを理解し、有名な祈りを通じて先人の考え方について理解している。 ②共同祈願作成における合意形成を通じて、周囲の小さくされた人々に注目し、自分の意見を周囲にわかりやすく伝えようとしている。 ③宗教行事に対し関心を高め、主体的に参加しようとしている。	ポートフォリオ	●	●	●
6月のテスト						●	●		
		3	キリスト教について	教皇・聖人・修道会について	①カトリックとプロテスタントの違い、教皇や教会組織、聖人、聖書と	6月のテスト	●		

6			聖書と典礼 復活について	その基本構造、典礼歴、復活についての基本を理解している。 ②得た知識について、文章で他者にわかりやすく伝えようとしている。 ③キリスト教、特に弟子の生き方に対する関心を高め、自分の在り方を意欲的に追及しようとしている。	6月のテスト	●						
	1	授業内テスト				●	●					
	7	12	いのちと喜び	寿命について① 寿命について② 人生の不安・未来への不安 人生の不安に起因する逸脱行動 生きる力の源について 幸せな生き方について① 幸せな生き方について② 講演会「交通遺族の会」 宗教行事「追悼ミサ」	①視聴覚教材、キリスト者の著作、及び講演会を通じて、いのちとその使い方について理解を深めている。 ②分かち合いを通じて、他者に自分の経験や考えをわかりやすく伝えようとしている。 ③分かち合いを通じて、他者の意見や考えを傾聴したり、よりよい生き方の実現を視野に自分の在り方についての課題を主体的に追究、解決しようとしていたりしている。	ポートフォリオ	●					
	8											
	9											
	10								作文		●	●
	11											
	12	11	他者との関わり	待降節① 待降節② 他者との諍い 宗教行事「クリスマスミサ」 後輩への態度 大切な人への態度 映画鑑賞 振り返り	①視聴覚教材、キリスト者の著作を通じて、他者との関わり方について理解を深めている。 ②分かち合いを通じて、他者に自分の経験や考えをわかりやすく伝えようとしている。 ③奉仕活動や分かち合いを通じて、他者の意見や考えを傾聴し多角的・多面的な視点を獲得しようとしていたり、よりよい生き方の実現を視野に自分の在り方についての課題を主体的に追究、解決しようとしていたりしている。	ポートフォリオ	●					
	1											
	2								作文		●	●

2024年度 芸術科 シラバス・年間指導計画

科目名	音楽 I			教科書	『MOUSA I』教育芸術社
学年	2	単位数	1	必修	副教材 高校生のための音楽研究ノート(教芸) アルトリコーダー、プリント等

学習目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指します。
学習の進め方	<p>授業は主に、歌唱・リコーダー・音楽鑑賞・楽典とソルフェージュを中心とし、その他、ギターやドラムも経験します。授業時に次回の予告をしますので、それに沿って準備をしてください。教科書以外にプリントも随時配布しますので、必要であればファイルなどを各自用意してください。1年生時と同様に、とりわけ実技に関しては上手下手で判断するのではなく、各自の取り組み、それぞれのレベルからの成長具合を見ますので、目標を持って取り組んでください。</p> <p>芸術科としての音楽を学びます。芸術に必要な能力は「連想する力」であるとも言えます。自分の持っているイメージをつないで、古い知識と新しい知識を組み合わせることで意味を想像することによって、新たな価値を創造する思考力が働き、創造力とは、関連付けて組み合わせる力であり、知覚・感受した表情を自己のイメージと関連付けて表現を工夫したり、そのイメージについて音や言葉で人に伝えたりすることが大切です。そのためには音楽の諸要素の働きやそれを表す音楽用語等に関する知識が必要になり、それを伝えるための技能や自分の心の動きを表現する言語的な豊かさも必要になります。それぞれがより深く学び、考え、表現をし、分かち合うことによって、芸術の美しさへのさらなる理解が深まりますので、心と頭で取り組んでもらいたいと思います。</p>
評価の観点	<p>観点の趣旨や到達目標</p> <p>①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度</p>
	<p>① 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p>
	<p>② 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p>
	<p>③ 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともにともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価基準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4 5 6 7 8	1	オリエンテーション						
			<ul style="list-style-type: none"> イタリア語の歌を歌おう “Caro mio ben”、 “O sole mio” 楽典、ソルフェージュ リズムについて ボディーパーカッション 「Plymouth Rock」他 ・ドラムに親しもう 	<ul style="list-style-type: none"> イタリア語について知る イタリア語の発音の習得 曲にふさわしい発音などの技能を身につけるとともに、曲想と音楽の構造や歌詞とのかわり、歌詞の持つ意味を理解し、表現を工夫して豊かに歌う。 演奏に必要な基礎である音価、リズムについて正しく理解する。 リズム表現を通して音色や奏法、表現を工夫し、他者と協同しながら演奏する喜びを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲にふさわしい発声、言葉や発音、身体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身につけることができる。 曲想と音楽の構造や歌詞とのかわりを理解することができる。 イメージをもって、音楽を形作っている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫することができる。 音価の種類、リズムの仕組みを理解できる。 リズムを正確に捉えるとともに、その重なり合いやつながりを意識して演奏できる。 曲想にあった奏法やパフォーマンスなどの技能を身につけ、表現を工夫できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組みの様子 学習プリント 実技試験 授業への取り組みの様子 学習プリント 	●	●	●

				・共通のイメージをもって、曲の特徴を生かした表現ができるよう試行錯誤したり意見交換したりしながら演奏することができる。				
	9	前期期末考査						
後期	10 11	・西洋音楽史と鑑賞 古代～近現代	現代の音符で書かれている音楽の基礎である西洋音楽の歴史を理解する。 それぞれの時代の文化的・歴史的背景との関りを理解するとともに、曲や演奏に対する評価と根拠について考え、音楽の良さを自ら味わって聴く。	・時代についてそれぞれの特徴を理解できる。 ・作品を鑑賞したり、作曲家について調べたり意見を交換しながら、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関りを理解できる。 ・曲や演奏に対する評価とその根拠を述べることができる。	・授業への取り組み ・学習プリント	●	●	●
		・リコーダー “いつも何度でも”	リコーダーの奏法を身につけるとともに曲想と楽器の音色や奏法との関りを理解し、表現を工夫して演奏する。	・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技能を身につけている。 ・演奏したり互いに聴きあったりしながら、曲想と楽器の音色や奏法との関りを理解できる。 ・イメージをもって、音楽を形作っている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫することができる。	・授業への取り組み ・学習プリント ・実技試験	●	●	●
	12	後期中間考査						
	1 2 3	・ヴォイス・アンサンブルの 楽しみ 卒業式の歌など	ハーモニーを感じ取りながら合唱する。 正確な音程やリズムをパートに分かれて練習し、ハーモニーを楽しみながらタイミングを合わせたり、音のバランスを考える。	・一人一人が主体性を発揮しながら、他者との調和を意識して演奏する技能を身につけている。 ・各パートの役割を理解するとともに全体の響きやハーモニーをイメージしながら演奏できている。 ・共通のイメージをもって、音楽を形作っている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫できている。	・授業への取り組み	●	●	●
		・ギターに親しもう	ギターの基礎知識を身につけ、個々のレベルに合った曲を楽しむ。	・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技能を身につけている。 ・演奏したり互いに聴きあったりしながら、曲想と楽器の音色や奏法との関りを理解する。 ・イメージをもって、音楽を形作っている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫することができる。	・授業への取り組み ・学習プリント	●	●	●

2024 年度 理科 物理基礎 シラバス・年間指導計画

科目名	物理基礎			教科書	東京書籍 新編物理基礎
学年	2	単位数	2	選択 I	副教材 東京書籍 ニューサポート 新編 物理基礎

学習目標	<p>物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験等に関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
学習の進め方	<p>プリントを配布するので、それを綴じるファイルを用意してください。授業は講義、ペアワーク、グループワーク、レポート作成、発表を通じて進めます。授業内容の理解が困難な場合は、自習をしたり、質問したりと内容理解に努めてください。</p>
評価の観点	<p>観点の趣旨や到達目標</p> <p>①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度</p>
	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物理学における基本的な概念や法則について体系的な知識を身につける。 ・物理学と人間生活の関係についての知識を身につける。 ・物理的課題を表現したり計算処理したりする技能を身につける。
	<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学的根拠に基づいて、物理学に関する諸課題を本質がわかるよう整理し、思考することができる。 ・理解したこと、考えたことを式や文、グラフ、図にまとめ、伝わるように表現することができる。
	<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 ・理科に関わる諸現象について、人間生活で見られる課題について問題点を見出し、主体的に追究、解決しようとしている。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	I	オリエンテーション(1h)	授業の進め方や評価方法などを説明する。 物理量の表し方 有効数字と不確かさ					
	5	II	I編 物体の運動とエネルギー I章 直線運動の世界 1 運動の表し方(1h) 2 変位と速度(2h) 3 等速直線運動(1h) 4 合成速度と相対速度(1h) 5 速度が変わる運動(3h) 6 自由落下運動(1h) 7 鉛直投射(1h) 8 水平投射(1h)	・変位や速度など物体の運動の基本的な表し方について、直線運動を中心に理解する。 ・等加速度直線運動を表す式を理解し、これを落下運動にあてはめ、自由落下、鉛直投げおろし、鉛直投げ上げの式を導けるようになる。	① ・等加速度直線運動をする物体の変位、速度、加速度を求めることができる。また、グラフから物理量を読み取ることができる。 ・落下運動の特徴について理解し、等加速度直線運動の式と関連付けて変位や速度を求めることができる。 ② ・速度と時間の測定値からグラフを描き、物体の運動を考察できる。 ・重力加速度の測定などの実験を通して、時間経過に伴う運動の変化を考察できる。 ③	ワークシート レポート	● ● ●	●	

				<ul style="list-style-type: none"> 学習した知識を用いて、さまざまな運動の特徴をとらえようとしている。 資料の読み取りや実験を通して、加速度について理解を深めようとしている。 	小テスト	●	●	
	1	前期中間考査				●	●	
6	14	2章 力と運動の法則	<ul style="list-style-type: none"> 物体にさまざまな力にはたらくことや力のつりあいの条件を理解する。 直線運動する物体について、物体の質量、物体にはたらく力、物体に生じる加速度の関係を見出して理解するとともに、運動の3法則を理解する。 水中の物体にはたらく水圧から、物体にはたらく浮力を導き、アルキメデスの原理を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 力の表し方を習得し、物体にはたらく力を図示することができる。 静止している、もしくは等速直線運動をしている物体について、力のつりあいの式を立てることができる。 さまざまな等加速度直線運動について、運動方程式を立てることができる。 ② 力のつりあいの実験を通して、つりあっている力の関係を説明することができる。 つりあう2力と作用・反作用の2力を明確に区別することができ、その違いを説明することができる。 台車を引く実験を行い、力と質量と加速度の関係を考察することができる。 ③ 物体にはたらく力を理解しようとし、問題に取り組む際には、正確に力を図示しようとしている。 身のまわりの現象を、運動の3法則と関連付けて理解しようとしている。 摩擦を利用した例を積極的に探そうとしている。 	ワークシート レポート	●	●	●
					ポートフォリオ			●
						小テスト	●	●
7	7	3章 力学的エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 物理における仕事を学び、仕事の原理を理解する。 運動エネルギーと位置エネルギーについて、仕事と関連づけて理解する。 力学的エネルギー保存の法則を仕事と関連づけて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 運動エネルギーと位置エネルギーを計算し、求めることができる。 力学的エネルギーが保存する場合、力学的エネルギー保存の式を立てることができる。 ② 仕事の原理を説明することができる。 振り子の実験を通して力学的エネルギーについての理解を深め、力学的エネルギー保存の法則について説明することができる。 ③ 仕事、運動エネルギー、位置エネルギーの知識をもとに、身のまわりの現象を理解しようとしている。 仕事の原理を利用している道具を、積極的に探そうとしている。 	ワークシート レポート	●	●	●
					ポートフォリオ			●
						小テスト	●	●
	1	前期期末考査				●	●	
9	6	2編 さまざまな物理現象とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 原子や分子の熱運動と「温度」の関係を理解させ、移動するエネルギーが「熱」であることを理解させる。 物体間の熱の移動において、熱量が保存することを理解させる。 熱量が保存することを用いて、物体の比熱を測定することを学ぶ。 ジュールの実験から熱と仕事の関係について理解し、内部エネルギー、熱力学第1法則について理解する。 熱現象は不可逆変化 	<ul style="list-style-type: none"> ① 熱と温度について、原子や分子の熱運動という視点から理解し、知識を身につけている。 比熱と熱容量の違いを理解し、それらを適切に使い分けられる。 熱量の保存を用いて、物体の比熱を求めることができる。 物質の三態を理解し、温度変化のグラフから物質の状態を読み取ることができる。 熱力学第1法則を用いて物体の内部エネルギーの変化を求めることができる。 熱機関の定義を理解し、熱機関の熱効率を求めることができる。 	ワークシート レポート	●	●	●

			<p>であることや熱機関の熱効率を考えさせ、エネルギーの変換と保存について理解させる。</p>	<p>・エネルギーにはさまざまなものがあることを理解し、エネルギー保存の法則を理解している。</p> <p>②</p> <p>・比熱や熱容量の考え方を身のまわりのものにあてはめ、その特徴を説明することができる。また、温度変化と熱量のグラフから物体の比熱を読み取ることができる。</p> <p>・熱量保存の法則を用いて、身のまわりの物体の温度がどのくらい変化するかを予想することができる。また、物体の熱容量、もしくは比熱を、実験から求めることができる。</p> <p>・熱の出入りや物体がされる仕事の正負を考慮して、熱力学の第1法則の式を立てることができる。</p> <p>・自然現象を例にして、不可逆変化の説明をすることができる。</p> <p>③</p> <p>・身のまわりの物体の温度を、ケルビンを用いて表現しようとしている。</p> <p>・物体の温まり方や冷め方を、比熱や熱容量と関連づけて考えようとしている。</p> <p>・比熱の実験に意欲的に取り組み、実験結果や実験手法において、論理的な考察をしている。</p> <p>・物質の状態変化や熱膨張に関心をもち、身のまわりの利用例を意欲的に見つけようとしている。</p> <p>・物体に仕事をすると物体の温度が上昇することを、実験などを通して、意欲的に経験しようとしている。</p> <p>・エネルギーの移り変わりの例を、意欲的に見つけようとしている。</p>	ポートフォリオ				●	
					小テスト	●	●			
後期	10	6	<p>2章 波</p> <p>6 いろいろな波 (1h)</p> <p>7 波の表し方 (1h)</p> <p>8 横波と縦波 (1h)</p> <p>9 波の重ね合わせ (1h)</p> <p>10 定在波 (1h)</p> <p>11 波の反射 (1h)</p>	<p>・波の基本的な性質について、直線上を伝わる波の波長、振動数、波の伝わる速さなど、正弦波を用いて理解させる。</p> <p>・波の振動方向と進行方向の関係から、横波と縦波の違いを理解し、その表し方を習得する。</p> <p>・定常波や波の反射について、波のようすを図示できるようになる。</p>	<p>①</p> <p>・波の基本的な要素を理解し、波の速さ、波長、振動数、周期を求めることができる。</p> <p>・縦波と横波の違いを理解し、縦波の横波表示をグラフに表すことができる。</p> <p>・波の重ねあわせの原理を理解している。</p> <p>・反射波の波形を描くことができる。</p> <p>②</p> <p>・波の y-x グラフから、媒質の振動状態を説明することができる。</p> <p>・y-x グラフから y-t グラフをまた、y-t グラフから y-x グラフを描くことができる。</p> <p>・波の重ねあわせの原理にもとづいて、合成波の波形を描くことができる。また、反射によってつくられる定常波を作図することができる。</p> <p>③</p> <p>・身のまわりの波を意欲的に探そうとしている。</p> <p>・横波と縦波の違いから、身のまわりの波をそれぞれにわけて考えようとしている。</p> <p>・意欲的に波形の作図をしようとしている。</p> <p>・身のまわりの波の反射が、自由端か固定端かを意欲的に探そうとしている。</p>	ワークシート レポート	●	●	●	
					ポートフォリオ				●	
					小テスト	●	●			

11	5	2章 波 12 音波(1h) 13 弦の固有振動(2h) 14 気柱の固有振動(2h)	・音波の定義を理解し、音の特徴は音の3要素によって表されることを理解する。 ・うなりを学習し波として音をとらえさせる。 ・物体の固有振動を学習し、共振、共鳴とあわせて理解する。 ・気柱の共鳴に関する実験などを行い、気柱の共鳴と音源の振動数を関連づけて理解させるとともに、弦の振動及び音波の性質を理解する。	① ・音波の違いを音の3要素から説明できる。 ・1秒間あたりのうなりの回数を求めることができる。 ・弦が固有振動をしているときの、波長や振動数を求めることができる。 気柱の固有振動について、閉管と開管の管内で生じる定常波の波長や振動数を求めることができる。 ② ・弦の固有振動の実験を通して、振動数、波の伝わる速さなどの基本的な量を調べ、弦の質量や張力との関係を考察することができる。 ・気柱共鳴の実験を通して、開管に生じる定常波の波長を求め、その手法について考察できる。また、おんさの振動数と定常波の波長の関係を考察することができる。 ③ ・音の3要素を、具体的な音に例えて理解しようとしている。 ・身のまわりのうなりの現象を意欲的に探そうとしている。 ・固有振動について、例えば、楽器などを用いて、弦、閉管、開管がどの楽器と対応しているかを意欲的に探そうとしている。	ワークシート レポート	●	●	●
				ポートフォリオ			●	
				小テスト	●	●		
	1	後期中間考査				●	●	
12	6	2編 さまざまな物理現象とエネルギー 3章 電気 15 動いていない電気、動いている電気(1h) 16 電流と電気抵抗(2h) 17 直列接続と並列接続(2h) 18 電力と電力量(1h)	・物体が電気を帯びること、同じ物質からなる導体でも長さや断面積によって低効率が異なることを理解させる。 ・抵抗の接続と合成抵抗、ジュール熱が発生仕組みなどを理解させる。	① ・電圧、電流、抵抗の間に成り立つ関係を、オームの法則を用いて説明することができる。 ・抵抗の直列接続と並列接続について、合成抵抗を計算し、求めることができる。 ・ジュール熱や電力を説明することができる。 ② ・抵抗を流れる電流と加わる電圧を測定する実験を行い、電流-電圧グラフから抵抗値を読み取ることができる。 ・抵抗の抵抗値を、実験結果から、抵抗の長さや断面積と関連づけて表現することができる。 ③ ・中学校で学習した内容をもとに、電気の基本的な性質や、回路についての知識を得ようとしている。 ・抵抗値の測定の実験に主体的に取り組む、抵抗値、長さ、断面積の関係を見出して理解しようとしている。	ワークシート レポート	●	●	●
				ポートフォリオ			●	
				小テスト	●	●		
1	4	2編 さまざまな物理現象とエネルギー 3章 電気 19 電流がつくる磁場(1h) 20 発電機のしくみ(1h) 21 直流と交流(1h) 22 電磁波(1h)	電流がつくる磁場、電磁誘導、直流と交流の性質などに関する観察や実験などを通して、発電や送電、モーター、電磁波など、日常生活での電気の利用について、基本的な仕組みを理解させる。	① ・直流モーターや発電機がどのような原理で動いているか、説明することができる。 ・電磁波が波長に応じてどのように利用されているか、概略を述べるができる。 ② ・直流モーターや発電機が動作する原理を、電流が磁場から受ける力や電磁誘導を用いて説明できる。 ・電磁波の性質や特徴にもとづいて、その利用例について説明することができる。 ③	ワークシート レポート	●	●	●
				ポートフォリオ			●	

				<ul style="list-style-type: none"> ・直流モーターが回転する仕組みや、発電機の原理について、理解を深めようとしている。 ・電磁波の種類や利用例について、意欲的に調べ、理解しようとしている。 	小テスト	●	●	
2	6	<p>2 編 さまざまな物理現象とエネルギー</p> <p>4 章 エネルギーとその利用</p> <p>23 エネルギーの変換と保存(1h)</p> <p>24 原子核のエネルギー(1h)</p> <p>25 放射線の利用と安全性(1h)</p> <p>26 エネルギーの利用と課題(2h)</p> <p>27 物理学が拓く世界(1h)</p>	<p>・太陽のエネルギーの利用、放射線の性質や原子力発電などの学習を通して、人類が利用可能な水力、化石燃料、原子力、太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用などについて、物理学的な側面から理解させる。</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽のエネルギーを利用した発電方法にどのようなものがあるか、説明することができる。 ・放射線の種類や、放射線がどのように利用されているか説明することができる。 ・原子力発電のしくみを、核分裂や連鎖反応という用語を用いて説明することができる。 	ワークシート レポート	●	●	●
				<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気エネルギーを作り出すエネルギー資源について、利点や課題を述べるができる。 ・放射線の性質を理解し、その利用例について考察することができる。 ・原子力発電の利点と課題について、述べるができる。 	ポートフォリオ			●
3				<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちが利用しているさまざまなエネルギー資源について、その特徴を理解しようとしている。 ・放射線への理解を深め、日常と関連づけて理解しようとしている。 ・原子力発電の利点や課題について調べ、理解しようとしている。 	小テスト	●	●	
	1	後期期末考査				●	●	

2024年度 理科 シラバス・年間指導計画

科目名	生物基礎				教科書	実教出版 生物基礎
学年	2	単位数	2	選択 I	副教材	浜松書店 基本新ステップノート 生物基礎 カラー版

学習目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。					
学習の進め方	プリントを配布するので、それを綴じるファイルを用意して下さい。授業は講義、グループ学習、実験、レポート作成、発表を通じて進めます。実験を行う際には、原理原則に基づき、結果を予測して行います。身近な物質やその変化を考える上で、重要な語句や関係式が出てきます。科学的に探究を行うために必要となる知識となるので、あいまいなままにせず、理解するように努めてください。					
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度					
	①	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験などを行い、レポートを作成する。観察・実験に対する姿勢、予想や考察、器具の操作、報告書などから評価する。 ・生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けるとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けている。 ・授業内容に合わせた問いを出題する。与えられた問いに対して正確に答えることができる。 				
	②	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験などを行い、レポートを作成する。結果を基に、事象を科学的に考察し、導き出した結論を正確に表現することができる。 ・生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 ・授業内容に合わせた問いを出題する。与えられた問いに対する答えを、正確に表現することができる。 				
	③	<ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 ・日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けてようとしている。 				

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	1	オリエンテーション	授業の進め方について					
		2	序章 探究の進め方 序章 実験を行うにあたって	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験などを行い、報告書を作成する。 ・実験器具の基本的な扱い方や実験を進める上での注意点を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 知識・技能 ・実験器具の基本的な扱い方や実験を安全に行うための注意点を理解している。 ② 主体的に学習する態度 ・課題に対して積極的に観察・実験などを行い、意欲的に探究しようとしている。 	レポート	●	●	●
	2	1	1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性 1 共通性・多様性とその由来	<ul style="list-style-type: none"> ・生物は多様でありながら、共通性を持っていることを理解する。 ・生物の共通性と生命の起源を関連付けて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 知識・技能 ・生物の共通性と多様性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 ・原核細胞と真核細胞の違いについて、それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理 	レポート	●	●	●
						ポートフォリオ			●

前期	5	2	2 細胞	<ul style="list-style-type: none"> ・真核細胞と原核細胞の構造と特徴を理解する。 ・細胞を構成する成分について理解する。 ・細胞にみられる特徴の違いについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 解している。 ・生命活動にはエネルギーが必要であり、生物は呼吸や光合成から得ていることを理解している。 ・生体内で行われる化学反応には酵素が触媒していることを理解している。 ② 思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・細胞が生物の基本構造であることを、生物学的な視点から考察することができる。 ・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を関連づけて考察し、それを表現できる。 ③ 主体的に学習する態度 <ul style="list-style-type: none"> ・生物の共通性を、観察・実験などを通して見出し、理解しようとしている。 ・資料に基づいて、生命活動がエネルギーが必要であることを理解しようとしている。 ・体内で行われる化学班のうは、酵素がかかわっていることを理解しようとしている。 ・課題に対して積極的に観察・実験などを行い、意欲的に探究しようとしている。 ・生物の多様性と共通性に主体的に関わり、継続的に学習している。 	レポート	●	●	●
						ポートフォリオ			●
						小テスト	●	●	
		3	2節 生物とエネルギー 1 生命活動とエネルギーの獲得	・生物が生命活動に必要なエネルギーの獲得方法について理解する。		レポート	●	●	●
						ポートフォリオ			●
		2	2 酵素と代謝	<ul style="list-style-type: none"> ・獲得したエネルギーの利用方法について理解する。 ・体内での代謝の進み方について理解する。 ・体内ではたらく酵素の特徴について理解する。 		レポート	●	●	●
						ポートフォリオ			●
		3	3 光合成と呼吸	<ul style="list-style-type: none"> ・光合成や呼吸の反応でATPが合成され、利用されることを理解する。 ・光合成や呼吸の過程を表現できるようになる。 		レポート	●	●	●
						ポートフォリオ			●
						小テスト	●	●	
6	2	前期中間考査 解説				●	●	●	
	2	2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA 1 遺伝子の本体	<ul style="list-style-type: none"> ・DNAと染色体の関係について理解する。 ・ゲノムがどのようなものか理解し、表現できるようになる。 ・遺伝子の本体を解明した研究について理解し、表現できるようになる。 	① 知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・DNA が二重らせん構造であること、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。 ・ゲノム、遺伝子、染色体、DNA の関係を理解している。 ・体細胞分裂が行われる際に、遺伝情報の同一性が保たれることを理解している。 ・DNA の塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。 	レポート	●	●	●	
					ポートフォリオ			●	
	2	2 DNA の構造	・遺伝情報を担う DNA について構造的な特徴を見出して理解し、表現できるようになる。		レポート	●	●	●	
					ポートフォリオ			●	
7	2	3 DNA 複製と分配	・DNA の複製を塩基の相補性と関連付けて理解		レポート	●	●	●	

前期	8	2	2節 遺伝情報とタンパク質の合成 1 遺伝子とタンパク質	し、表現できるようになる。 ・DNAの複製と分配について意義と重要性について理解し、表現できるようになる。 ・DNAの複製・分裂は細胞周期に行われることを理解する。	② 思考・判断・表現 ・DNAの性質や構造を科学的に考察し、表現することができる。 ・DNAの複製から分配までの過程を表現することができる。 ・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現することができる。 ③ 主体的に学習する態度 ・DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとしている。 ・DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとしている。 ・細胞分裂の際に、DNAの塩基配列が正確に複製される仕組みを見出し、理解しようとしている。 ・生物の多様性と共通性に主体的に関わり、継続的に学習している。	ポートフォリオ			●	
				小テスト		●	●			
		2	2 タンパク質の合成	・生物の特徴がタンパク質の違いによって決まることを理解する。 ・タンパク質の種類が多く存在する理由について理解し、アミノ酸種類と関連付けて表現できるようになる。		レポート	●	●	●	
				ポートフォリオ					●	
		1	3	3 遺伝子の発現		・すべての遺伝子が細胞内で発現しているわけではないことを理解し、表現できるようになる。	レポート	●	●	●
						ポートフォリオ				●
		2	4	4 ゲノムと遺伝子		・遺伝子・遺伝情報・ゲノムの関係を理解する。 ・DNAの中で遺伝子の存在と位置を理解する。	レポート	●	●	●
						ポートフォリオ				●
	2	前期末考査 解説			●	●	●			
後期	9	2	3章 ヒトのからだの調節 1節 体内環境 1 体内環境と恒常性	・体内環境が一定に保たれていることを理解する。 ・体内環境の意味とその意義を理解し、表現できるようになる。	① 知識・技能 ・体内環境が一定の範囲に保たれていることを理解している。 ・腎臓での塩類濃度の調節や、肝臓による物質の合成・分解などのしくみを理解している。 ・ホルモンの分泌により血糖量が保たれることを理解している。 ・ホルモンの分泌不足によって発症する疾患についての知識を身に付けている。 ・免疫応答の概要と免疫に関わる細胞や器官を理解している。 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解している。 ② 思考・判断・表現 ・腎臓の塩類濃度調節や体温の調節が、臓器や細胞から分泌されるホルモンなどの物質により調節されていることを考察し、表現することができる。 ・病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し、表現することができる。 ・免疫応答の概要と免疫に関わる細胞や器官を理解し、表現することができる。 ③ 主体的に学習する態度 ・外界の環境が変化しても、体内環境が一定に保たれるしくみについて理解しようとしている。 ・資料に基づいて、ヒトの血糖濃度が調節されるしくみを見出し、理解しようとしている。 ・病原体などの異物を認識・排除する仕組みを理解しようとしている。 ・課題に対して積極的に観察・実験などを行い、意欲的に探究しようとしている。 ・生物に主体的に関わり、継続的に学習している。	レポート	●	●	●	
				ポートフォリオ				●		
		2	2	2 体液とその働き		・体液の構成と働きを理解し、表現できるようになる。 ・体内環境の維持にかかわる血液凝固の仕組みを理解し、表現することができる。	レポート	●	●	●
		2	3	3 体液の調節		・体内環境の維持に関して、肝臓と腎臓の働きについて理解する。 ・肝臓と腎臓による体液調節の仕組みを表現できるようになる。	レポート	●	●	●
						ポートフォリオ			●	
	10	2	2節 体内環境の維持のしくみ 1 遺伝の情報	・体内の情報の伝達がからだの調節に関係していることを見出して理解する。 ・情報伝達の概要について理解し、表現することができる。	レポート	●	●	●		
				ポートフォリオ			●			
		2	2	2 自律神経系による情報伝達と調節	・体内環境の維持を自律神経系と関連付けて理解する。 ・神経系の構成と自律神経系の働きを理解し、表現することができる。	レポート	●	●	●	
		2	3	3 内分泌系による情報伝達と調節	・体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を理解する。 ・ホルモン分泌の調節のしくみを理解し、表現できるようになる。	レポート	●	●	●	
					ポートフォリオ			●		
2	4	4 内分泌系と自律神経系による調節	・ホルモンと自律神経の働きによって体内環境が維持されていることを理解する。	レポート	●	●	●			
ポートフォリオ			●							

後期				・血統濃度調節のしくみと、その以上で起こる疾病を理解し、表現できるようになる。		小テスト	●	●			
	11	2	3節 免疫 1 生体防御と免疫	・異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解する。 ・免疫応答の概要と、免疫に関わる細胞や器官を表現することができる。		レポート	●	●	●		
							ポートフォリオ			●	
		1	2 自然免疫のしくみ	・体内への異物の侵入を防ぐ防御機構を理解する。 ・体内に侵入した異物に対して、非特異的に働く免疫の過程を理解し、表現できるようになる。		レポート	●	●	●		
							ポートフォリオ			●	
	11	1	3 獲得免疫のしくみ	・体内に侵入した異物に対して特異的に働く免疫の仕組みを理解し、表現できるようになる。 ・同じ疾病に2度かかりにくい理由を考え、応用例を表現することができる。 ・免疫が医療に応用されていることを理解する。		レポート	●	●	●		
							ポートフォリオ			●	
		1	4 免疫と疾患	・免疫が過敏に働く疾患や免疫の機能が低下する疾患のしくみを理解し、表現できるようになる。		レポート	●	●	●		
							ポートフォリオ			●	
		2	後期中間考査 解説				小テスト	●	●		
	12	1	4章 生物の多様性と生態系 1節 植生と遷移 1 生態系とその成り立ち	・生物と環境がどのように関係しているかを理解する。 ・生態系がどのようにして成り立っているかを理解し、表現できるようになる。	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物と環境がどのように関係しているかを理解している。 ・世界のバイオームの分布と気象条件との関係を理解している。 ・日本のバイオームの特徴を理解している。 ・生態系によって生物多様性の頻度が異なることを理解している。 ・生態系は変動しても、一定の範囲内でバランスが保たれていることを理解している <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生態系の成り立ちについて表現することができる。 ・植生の特徴を見出し、分類することができる。 ・植生に影響を与える要因について、科学的に考察し、表現することができる。 ・遷移の進行について、その要因を踏まえて表現することができる。 ・世界のバイオームの分布と気象条件との関係を表現することができる。 ・世界のバイオームの分布と植生の遷移を関連付けて表現することができる。 ・水平分布と垂直分布の関連性について理解し、表現することができる。 ・生態系には多様な生物種が存在することを見出して、理解する。 ・生態系によって生物多様性の程度が異なることを理解する。 	レポート	●	●	●		
								ポートフォリオ			●
		2	2 植生とその変化	・植生がどのようなもので、どのように分類されているかを理解し、表現できるようになる。 ・植生に影響を与える要因を見出して考察し、どのように影響を与えているかを表現できるようになる。			レポート	●	●	●	
								ポートフォリオ			●
		2	3 遷移のしくみ	・遷移がどのように進行するか理解している。 ・遷移の進行について、その要因を踏まえて表現できるようになる。			レポート	●	●	●	
								ポートフォリオ			●
		1	2節 植生とバイオーム 1 世界のバイオームとその分布	・世界のバイオームの分布と気象条件との関係を理解し、表現できるようになる。 ・世界のバイオームの分布と植生の遷移を関連付けて表現できるようになる。			レポート	●	●	●	
							ポートフォリオ			●	
	2	2 日本のバイオームとその分布	・日本のバイオームの特徴を理解し、表現できるようになる。 ・水平分布と垂直分布の関連性について理解し、表現できるようになる。			レポート	●	●	●		
							ポートフォリオ			●	
							小テスト	●	●		
	1	2 3節 生態系と生物の多様性 1 生物の多様性	・生態系には多様な生物種が存在することを見出して、理解する。 ・生態系によって生物多様性の程度が異なることを理解する。			レポート	●	●	●		
							ポートフォリオ			●	

後期	2	2	生物どうしのつながり	<ul style="list-style-type: none"> 生態系内の生物同士のつながりを理解し、表現できるようになる。 生物の多様性と生物同士のつながりを関連付けて表現できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模な攪乱によって生態系のバランスが崩れてしまうことを表現することができる。 生態系のバランスに及ぼす人間生活の影響を理解し、どのような影響を及ぼすか表現することができる。 	レポート	●	●	●	
						ポートフォリオ			●	
							小テスト	●	●	
							レポート	●	●	●
後期	2	1	4節 生態系のバランスと保全 1 生態系のバランス	<ul style="list-style-type: none"> 生態系は変動しても、一定の範囲内でバランスが保たれていることを理解する。 大規模な攪乱によって生態系のバランスが崩れてしまうことを表現できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ③ 主体的に学習する態度 生態系の保全について、主体的に探究している。 	レポート	●	●	●	
						ポートフォリオ			●	
		1	2	人間生活による環境への影響	<ul style="list-style-type: none"> 生態系のバランスに及ぼす人間生活の影響を理解し、どのような影響を及ぼすか表現できるようになる。 生態系のバランスを保つための人間の活動を探究する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境の保全に寄与する姿勢を身に付けようとしている。 	レポート	●	●	●
							ポートフォリオ			●
		1	3	生物多様性の影響と生態系の保全	<ul style="list-style-type: none"> 生態系の保全の必要性を理解し、その重要性を表現することができる。 自然環境の保全に寄与する姿勢を身に付ける。 		レポート	●	●	●
							ポートフォリオ			●
						小テスト	●	●		
	3	2	後期期末考査 解説				●	●	●	

2024年度 英語科 シラバス・年間指導計画

科目名	テクニカルライティング			教科書	None
学年	2	単位数	2	選択	副教材

学習目標	<p>The purpose of this elective course is to gain knowledge and skills in reading and writing. The course focuses on short essay writing and short readings as well as the parts of speech. Overall target is a build up to the third-grade presentation course.</p>				
学習の進め方	<p>Using the parts of speech as a foundation of making phrases, students will learn how to control meaning in writing and in reading. 7 parts of speech will be introduced starting with noun, pronoun, adjective, verb, preposition, adverb, conjunction and interjection. Teacher will provide a deep lecture on each part along examples. Students will try to test their knowledge through recognizing the parts and their job in a sentence. Class will be supplemented by reading materials and written practice.</p> <p>The course consists of in-class work periods in order to meet the deadlines set on weekly basis. Students need to bring a dictionary to class every day.</p> <p>Most of the work is solitary but supported by teacher in one-on-one style.</p> <p>Teacher will speak a fair amount of time in English so if a student doesn't follow the class it is his/her responsibility to solve the issue by asking the teacher. Japanese language will be used when necessary to ensure the proper progression in class assignments.</p>				
評価の観点	<p>観点の趣旨や到達目標</p> <p>① …知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度</p>				
	①	<p>●Through the lectures and written activities students acquire technical knowledge and skills of how to write complex structures and how to use the language according to culturally relevant content.</p>			
	②	<p>●Students have to show the ability to recognize and express different patterns of paragraph organization through use of English language phrases in writing.</p>			
	③	<p>●Students have to display interest, motivation and attitude for step up progress in creative writing and reading ability.</p>			

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	1	Orientation						
		3	Chapter 1 Organization: the key to good writing.	Explain how to organize information in English to write effective paragraphs	①Ability to use chapter' s target skill points according to the textbook writing tasks. ②Expressive writing and sharing of own feelings, thoughts according to theme, assigned in the textbook ③Measure of progress through skill and expression according to the chapter based on step up process.	Textbook tasks	●		
						TEST Writing	○	●	○
						Portfolio			●
		3	Detailed description of Nouns	Lecture- writing practice. Description of different types of nouns	① Evaluation is based on ability to use grammatical points according to the lecture. ②Expressive writing of information, feelings, thoughts according to content assigned by teacher ③Progress through skill and expression according to the lectures in a step up manner.	Essay tasks	●		
						TEST Writing	○	●	○
	Portfolio							●	
	5	3	Chapter 2 Understanding paragraphs. Part I	Identifying Parts of a Paragraphs. Choosing and writing of topic sentence.	①Ability to use chapter' s target skill points according to the textbook writing tasks. ②Expressive writing and sharing of own feelings, thoughts according to theme, assigned in the textbook ③Measure of progress through skill and expression according to the chapter based on step up process.	Textbook tasks	●		
						TEST Writing	○	●	○
						Portfolio			●
		3	Detailed description of Pronouns	Lecture- writing practice. Description of different types of Pronouns	① Evaluation is based on ability to use grammatical points according to the lecture. ②Expressive writing of information, feelings, thoughts according to content assigned by teacher ③Progress through skill and expression according to the lectures in a step up manner.	Essay tasks	●		
						TEST Writing	○	●	○
Portfolio								●	
6	No midterm test						●	●	
6	3	Chapter 2 Understanding paragraphs. Part 2	Identifying supporting and irrelevant sentences in paragraphs.	①Ability to use chapter' s target skill points according to the textbook writing tasks. ②Expressive writing and sharing of own feelings, thoughts according to theme, assigned in the textbook ③Measure of progress through skill and expression according to the chapter based on step up process.	Textbook tasks	●			
					TEST Writing	○	●	○	
					Portfolio			●	
	3	Detailed description of Adjectives	Lecture- writing practice. Description of different types of Adjectives	① Evaluation is based on ability to use grammatical points according to the lecture. ②Expressive writing of information, feelings, thoughts according to content assigned by teacher ③Progress through skill and expression according to the lectures in a step up manner.	Essay tasks	●			
TEST Writing					○	●	○		
Portfolio							●		

7	3	Chapter 2 Understanding paragraphs. Part 3	Writing of concluding sentences for paragraphs.	①Ability to use chapter' s target skill points according to the textbook writing tasks. ②Expressive writing and sharing of own feelings, thoughts according to theme, assigned in the textbook ③Measure of progress through skill and expression according to the chapter based on step up process.	Textbook tasks	●		
					TEST Writing	○	●	○
					Portfolio			●
3	3	Detailed description of Verbs	Lecture- writing practice. Description of different types of Verbs	① Evaluation is based on ability to use grammatical points according to the lecture. ②Expressive writing of information, feelings, thoughts according to content assigned by teacher ③Progress through skill and expression according to the lectures in a step up manner.	Essay tasks	●		
					TEST Writing	○	●	○
					Portfolio			●
8	3	Chapter 3 Organizing Information by TIME. Part 1	Identifying time order, using signal words, using prepositions of time.	①Ability to use chapter' s target skill points according to the textbook writing tasks. ②Expressive writing and sharing of own feelings, thoughts according to theme, assigned in the textbook ③Measure of progress through skill and expression according to the chapter based on step up process.	Textbook tasks	●		
					TEST Writing	○	●	○
					Portfolio			●
3	3	Detailed description of Prepositions	Lecture- writing practice. Description of different types of Prepositions	① Evaluation is based on ability to use grammatical points according to the lecture. ②Expressive writing of information, feelings, thoughts according to content assigned by teacher ③Progress through skill and expression according to the lectures in a step up manner.	Essay tasks	●		
					TEST Writing	○	●	○
					Portfolio			●
9	1	前期期末考査				●	●	

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
後期	9	3	Chapter 3 Organizing Information by TIME. Part 2	Writing paragraphs using time order. Capitalization.	①Ability to use chapter' s target skill points according to the textbook writing tasks. ②Expressive writing and sharing of own feelings, thoughts according to theme, assigned in the textbook ③Measure of progress through skill and expression according to the chapter based on step up process.	Textbook tasks	●		
						TEST Writing	○	●	○
			Portfolio				●		
	10	3	Detailed description of Adverbs	Lecture- writing practice. Description of different types of Adverbs	① Evaluation is based on ability to use grammatical points according to the lecture. ②Expressive writing of information, feelings, thoughts according to content assigned by teacher ③Progress through skill and expression according to the lectures in a step up manner.	Essay tasks	●		
TEST Writing						○	●	○	
					Portfolio			●	

1	3	Detailed description of Phrases. Part 2	Lecture-reading practice. Description of different types of Phrases	through skill and expression according to the chapter based on step up process. ① Evaluation is based on ability to use grammatical points according to the lecture. ② Expressive writing of information, feelings, thoughts according to content assigned by teacher ③ Progress through skill and expression according to the lectures in a step up manner.	Portfolio				
		Essay tasks	●						
		TEST Writing	○	●	○				
	Portfolio			●					
	2	3	Chapter 6 The writing process. Supporting the main idea	Step one: prewriting, brainstorming, clustering. Step two: writing. Step three: revising.	① Ability to use chapter's target skill points according to the textbook writing tasks. ② Expressive writing and sharing of own feelings, thoughts according to theme, assigned in the textbook ③ Measure of progress through skill and expression according to the chapter based on step up process.	Textbook tasks	●		
			TEST Writing	○	●	○			
			Portfolio			●			
	3	3	Detailed description of Phrases. Part 3	Lecture-reading practice. Description of different types of Phrases	① Evaluation is based on ability to use grammatical points according to the lecture. ② Expressive writing of information, feelings, thoughts according to content assigned by teacher ③ Progress through skill and expression according to the lectures in a step up manner.	Essay tasks	●		
			TEST Writing	○	●	○			
			Portfolio			●			
	3	3	Chapter 7 Supporting the main idea	Using personal experience, using facts and quotes for support.	① Ability to use chapter's target skill points according to the textbook writing tasks. ② Expressive writing and sharing of own feelings, thoughts according to theme, assigned in the textbook ③ Measure of progress through skill and expression according to the chapter based on step up process.	Textbook tasks	●		
			TEST Writing	○	●	○			
Portfolio					●				
3	3	Detailed description of Phrases. Part 4	Lecture-reading practice. Description of different types of Phrases	① Evaluation is based on ability to use grammatical points according to the lecture. ② Expressive writing of information, feelings, thoughts according to content assigned by teacher ③ Progress through skill and expression according to the lectures in a step up manner.	Essay tasks	●			
		TEST Writing	○	●	○				
		Portfolio			●				
1	学年末					●	●		

2024年度 情報科 シラバス・年間指導計画

科目名	情報活用			教科書	
学年	2	単位数	2	選択 I	副教材

学習目標	情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度をバランスよく伸ばし、情報活用能力を身に付ける。高校生の段階において必要な IT 機器の操作方法や情報リテラシーを身に付ける。情報モラルを身に付け、コンピュータなどの情報手段を適切に活用し、情報の発信や受信において適切な対応力を身に付ける。
学習の進め方	IT教室で座学やパソコンを使う実習を行います。 実習は、マイクロソフト社のワード、エクセル、パワーポイントを主に活用し、ワードでは、文字のスピード入力や各種書式の文書作成技術や情報デザイン技術、エクセルでは表計算情報処理、パワーポイントでのプレゼンテーション（発表会）をします。情報技術を適切かつ効果的に活用できるように学びを深めます。
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ① …知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度
	① ・課題や目的に応じて情報処理手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に判断・表現・処理をする能力を身に付ける。
	② ・情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と、情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための理論や方法の理解を深める。
	③ ・情報社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割等を理解し、PC を活用し積極的に取り組む態度を養う。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価			
							①	②	③	
前期	4	3	1	オリエンテーション	IT 教室でのマナー全体の説明				●	
				アプリケーションソフト「ワード」の基礎・基本機能の習得	正しい書式設定の理解とマスター。 各種タイピングマスターをする練習。(ホームポジションキー確認・清音・濁音・半濁音・清音+拗音・促音・外来語・英字・数字・記号・ひらがな・カタカナ・単漢字・熟語変換・調音記号等々のスピード入力) ビジネス基礎的な文書作成の練習。	①各種のアプリケーションソフトを生かすために必要なルールを理解している。 ②ワープロソフトで正確に文字入力や文書の体裁を整えることができる。 ③授業活動において積極的な姿勢や、協力して行う態度が見られる。	調べ学習	●		●
							実習取組	●	●	●
							授業姿勢			●
	5	6	同上	各種タイピング練習。(文節変換・短文のスピード入力10分間) ビジネス基礎的な文書作成の練習。(体裁練習・表挿入)	①各種のアプリケーションソフトを生かすために必要なルールを理解している。 ②ワープロソフトで正確に文字入力や文書の体裁を整えることができる。 ③授業活動において積極的な姿勢や、協力して行う態度が見られる。	調べ学習	●		●	
						実習取組	●	●		
						授業姿勢			●	
	6	8	同上	各種タイピング練習。(長文310文字スピード入力10分間2~3セット) ビジネス基礎的な文書作成の練習。(体裁練習・表挿入)	①各種のアプリケーションソフトを生かすために必要なルールを理解している。 ②ワープロソフトで正確に文字入力や文書の体裁を整えることができる。 ③授業活動において積極的な姿勢や、協力して行う態度が見られる。	調べ学習	●		●	
						実習取組	●	●		
					授業姿勢			●		

7	6	同上	各種タイピング反復練習。 (長文310文字スピード入力10分間2~3セット) ビジネス基礎的な文書作成の練習。体裁作成(前付けの作成・文書番号・文書番号と発信日付・右寄せ・スペース挿入・フォント変更・各種下線・中央ぞろえ・表挿入及び作成)	①各種のアプリケーションソフトを生かすために必要なルールを理解している。 ②ワープロソフトで正確に文字入力や文書の体裁を整えることができる。 ③授業活動において積極的な姿勢や、協力して行う態度が見られる。	調べ学習	●	●	
		実習取組	●		●			
		授業姿勢		●	●			
8	3	アプリケーションソフト「ワード・エクセル」の基礎・基本機能の習得。	ワード(スピード入力10分間反復練習・文書作成問題印刷提出) エクセルの正しい書式設定の理解とマスター。 (画面構成の理解・入力データの確認・計算式・各種の関数式・処理条件の理解・出力形式の確認・印刷処理)	①各種のアプリケーションソフトを生かすために必要なルールを理解している。 ②ワープロ・エクセルソフトで正確に文字入力・情報処理や文書の体裁を整えることができる。 ③授業活動において積極的な姿勢や、協力して行う態度が見られる。	調べ学習	●		
		実習取組	●	●	●			
		授業姿勢			●			
9	8	前期期末考査 寺子屋運動ポスター作成	ユネスコ協会からの作成シートを活用しメッセージや画像処理を行いポスター作成しグループ別にパワーポイントで発表。	①各種のアプリケーションソフトを生かすために必要なルールを理解している。 ②ワープロ・エクセルソフトで正確に文字入力や文書の体裁を整えることができる。 ③授業活動において積極的な姿勢や、グループ内で協力してプレゼンテーション行う態度が見られる。	調べ学習	●		
		実習取組	●	●	●			
		授業姿勢		●	●			
10	8	アプリケーションソフト「ワード・エクセル」の検定用模擬試験問題中級レベルの処理問題を習得。	ワード(3・2級レベルスピード入力10分間反復練習・3級レベル文書作成問題印刷提出) エクセルの3級レベルの情報処理問題の処理及び処理問題の印刷提出	①各種のアプリケーションソフトを生かすために必要なルールを理解している。 ②ワープロ・エクセルソフトで正確に文字入力・情報処理や文書の体裁を整えることができる。 ③授業活動において積極的な姿勢や、協力して行う態度が見られる。。	調べ学習	●	●	●
		実習取組		●	●			
		授業姿勢		●	●			
11	8	同上	同上	同上	調べ学習	●		●
		実習取組	●	●	●			
		授業姿勢		●	●			
12	5	同上 アプリケーションソフト「ワード・エクセル」活用し次年のカレンダー作成	同上 画像取入れ・表作成・図形・テキストボックス・ワードアート等々を活用し斬新で個性的なカレンダーを作成する。	同上	調べ学習	●	●	
		実習取組	●		●			
		授業姿勢			●			
1	4	アプリケーションソフト「ワード・エクセル」の検定用模擬試験問題中級レベルの処理問題を習得。	ワード(3・2級レベルスピード入力10分間反復練習・2級レベル文書作成問題印刷提出) エクセルの3級レベルの情報処理問題の処理及び処理問題の印刷提出	同上	調べ学習	●	●	
		実習取組	●		●			
		授業姿勢			●			

2	5	ワードでビジネス文書実務検定の文書部門の機械・機械操作問題（一般・入力・キー操作・出力・編集・記憶・マーク・ランプの基礎となる用語と用語の意味の学習。	ワードの活用に必要な基礎用語と用語の意味を覚えエクセルを活用し、学習ノートを作成し、レポート形式で加工し、表・裏表紙デザインを工夫作成し印刷提出。	①各種のアプリケーションソフトを生かすために必要なルールを理解している。 ②ワープロ・エクセルソフトで正確に文字入力や文書の体裁を整えることができる。 ③授業活動において積極的な姿勢や、協力して行う態度が見られる。。	調べ学習	●	●	
					実習取組	●		●
					授業姿勢			●
3	4	後期期末考査アプリケーションソフト「ワード・エクセル」活用し次年度の学校祭ポスター作成	画像取入れ・表作成・図形・テキストボックス・ワードアート等々を活用し斬新で個性的なカレンダーを作成する。	同上	調べ学習	●	●	
					実習取組	●		●
					授業姿勢			●